塩尻市
「子ども・子育てアンケート」

結果報告書

令和６年３月

目次

１．調査概要 1
（1）　調査の目的 1
（2）　調査の実施方法 1
（3）　アンケート用紙回収結果 1
（4）　その他 1

２．調査結果からみられた特徴・経年変化 2
（1）　家庭内における変化 2
（2）　保育ニーズの変化 2

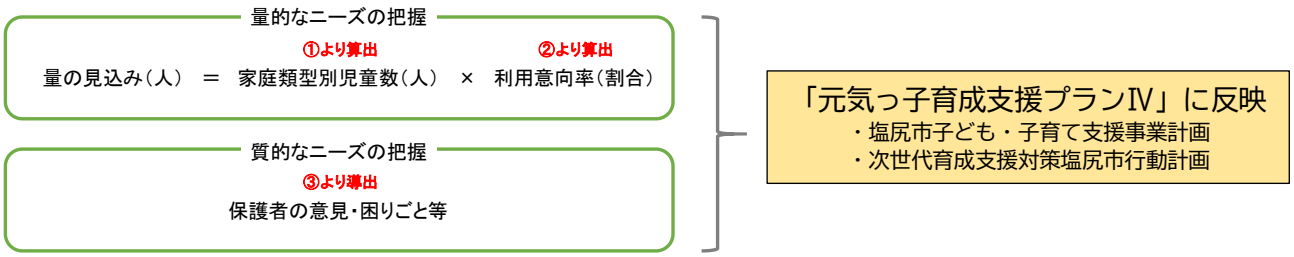
３．調査結果の詳細 3
（1）　ご回答者とお子さん、ご家族の状況について 3
（2）　幼稚園、保育園などの定期的な利用について 19
（3）　病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ） 30
（4）　不定期の保育サービスの利用について 32
（5）　地域の子ども・子育て支援事業について 35
（6）　小学校就学後の放課後の過ごし方について 36
（7）　母親の就労状況について 42
（8）　母親の育児休業について 46
（9）　父親の就労状況について 49
（10）　父親の育児休業について 51
（11）　子育てに関する意見等 53

1．調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、塩尻市子ども・子育て支援事業計画の見直しにあたり、本市における教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するとともに、保護者の意見を次世代育成支援対策塩尻市行動計画に反映させるために、以下の３点を目的として実施した。

①家庭の状況及び保護者の就労状況を把握
②教育・保育・子育て支援の「現在の利用状況」「今後の利用希望」を把握
③教育・保育・子育て支援に関する保護者の意見を把握



(2) 調査の実施方法

◆調査対象者：市内在住で、0～6歳の子どもを持つ保護者
◆抽出方法：住民基本台帳をもとに抽出
◆調査方法：郵送で配布し、WEB での回答とした
◆実施期間：令和５年11月28日～12月31日
◆調査形式：封筒のあて名のお子さんについて回答を依頼
◆調査項目：①ご回答者とお子さん、ご家族の状況について
② 幼稚園、保育園などの定期的な利用について
③ 病気の際の対応について（平日の教育･保育を利用する方のみ）
④ 不定期の保育サービスの利用について
⑤ 地域の子ども・子育て支援事業について
⑥ 小学校就学後の放課後の過ごし方について
⑦ 母親の就労状況について
⑧ 母親の育児休業について
⑨ 父親の就労状況について
⑩ 父親の育児休業について

(3) アンケート用紙回収結果

◆実配布数：1,905件（母集団3,045件のうち、兄弟重複を除いて配布）
◆回収数：850件
◆回収率：44.6%

(4) その他

◆回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が 100.0%にならない場合がある。
◆グラフ中の「n」は Numberofcase の略で、「n＝」は該当質問の有効回答数を表す。なお、無回答の処理によって、有効回答数が異なる場合がある。
◆図表のタイトルや選択肢は、簡略化している場合がある。

２.調査結果からみられた特徴・経年変化

本調査結果では、これまで行ってきた平成 25 年、平成 30 年の調査結果と比較するなかで、家庭内における保護者の就労状況や子育てへの参加の仕方などの変化、また、それに伴う保育ニーズの変化がみられた。その他、子育て環境や子育てへの負担感などの変化もみられた。

本調査結果からみられた特徴や経年変化の詳細は、以下の通りとなっている。

(1) 家庭内における変化

1) 保護者の就労状況と子育てへの参加の仕方の変化

- 母親の就労状況はフルタイムが約 4 割と最も多く、過年度と比べ、フルタイムの割合が増加している。父親においては、9 割以上がフルタイムで働いており、過年度と同様の傾向である。なお、現在、パート・アルバイト等で就労している母親や、現在働いていない母親においても、フルタイムで働く希望や意向がみられ、より共働きの家庭が増える可能性が考えられる。
- 母親も働く家庭が増えていることもあり、父母共に子育てを行う者が半数以上を占めており、その割合は、過年度に比べて大きく増えている。
- また、母親、父親ともに育児休業を取得した割合は、過年度に比べて増えている。育児休暇を取得しなかった理由をみると、休暇を取りにくい雰囲気があったことや、制度がなかったと回答する割合が、過年度に比べて減少している。職場において取得しやすい環境が整えられてきていることがうかがえ、その結果、母親の継続的な就労や、父親の育児参加につながっていると考えられる。

2) 子育て環境と、子育てに関する感じ方や負担感の変化

- 日頃お子さんを預かってもらえる人がいる者は約 7 割であるが、3 割は預かってもらえる人がいないとしている。また、子育てに関する相談相手・場所がある者は 9 割を占めている一方で、1 割はいないとしており、過年度より、相談相手がいない者の割合はやや増えている。
- 子育ては楽しいとする者は 9 割であるが、そう思わない者も一定数みられる。また、子育てをする上での悩みや不安、負担を感じる者は 8 割以上と、年々増加傾向がみられる。

(2) 保育ニーズの変化

- 共働き家庭が増えるなか、3 歳までの望ましい子育て環境について、家庭と保育園等の両方とする者が最も多い。過年度に比べ、保育園等に就園させながら育てたいとする者が増加傾向にある。
- 幼稚園や保育園などは 7 割以上が利用しており、その割合は年々増加している。利用している事業は、認可保育所が最も多く、過年度に比べ、幼稚園の割合は減少し、認定こども園の割合の増加がみられる。また、今後の利用意向としても、認可保育所が最も多い。なお、過年度に比べて幼稚園の希望者は減少傾向にあり、認定こども園の利用を希望する者の増加がみられる。
- また、病児保育や一時保育などの利用意向は、過年度に比べ増加がみられる。

３.調査結果の詳細

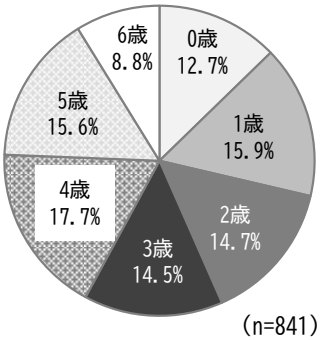
（1） ご回答者とお子さん、ご家族の状況について

- 子どもの年齢割合は、各歳とも 15%前後であるが、「0 歳」が 12.7%、「6 歳」が 8.8%とやや少ない。
- 学齢については、「0 歳児」のみ 9.0%と少なく、それ以上では 15%前後となっている。
- 性別は「男児」が 51.8%、「女児」が 48.2%となっている。

1） 回答対象のお子さんの年齢と性別

①年齢

	度数（人）	割合(%)
0歳	107	12.7
1歳	134	15.9
2歳	124	14.7
3歳	122	14.5
4歳	149	17.7
5歳	131	15.6
6歳	74	8.8
合計	841	100.0



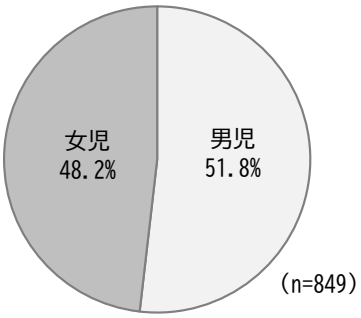
②学齢

	度数（人）	割合（%）
0歳児	76	9.0
0-1歳児	126	15.0
1-2歳児	135	16.1
2-3歳児	119	14.1
年少	135	16.1
年中	136	16.2
年長	114	13.6
合計	841	100.0

※回答対象のお子さんの生年月より算出
（令和５年 12 月 1 日時点として換算）
各区分は以下のとおりである。
・0 歳児：令和 5（2023）年 4 月～11 月生まれ
・0-1 歳児：令和 4（2022）年 4 月～令和 5（2023）年 3 月生まれ
・1-2 歳児：令和 3（2021）年 4 月～令和 4（2022）年 3 月生まれ
・2-3 歳児：令和 2（2020）年 4 月～令和 3（2021）年 3 月生まれ
・年少：令和 1（2019）年 4 月～令和 2（2020）年 3 月生まれ
・年中：平成 30（2018）年 4 月～令和 1（2019）年 3 月生まれ
・年長：平成 29（2017）年 4 月～平成 30（2018）年 3 月生まれ

③性別

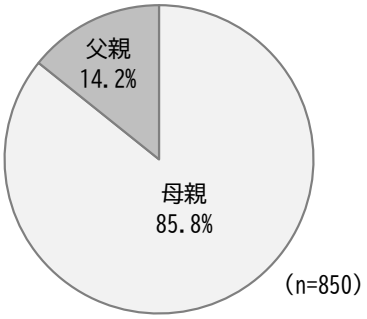
	度数（人）	割合（%）
男児	440	51.8
女児	409	48.2
合計	849	100.0



- 回答者は、「母親」が 85.8%、「父親」が 14.2%である。
- 配偶者の有無については、配偶者がいるものが 96.9%、配偶者がいない者は 3.1%となっている。
- 回答者の年齢は「30 代」が 60.9%と最も多く、次いで「40 代」が 27.3%、「20 代」が 11.3%となっている。
- 居住地区については、「桔梗小学校」が 25.3%と最も多く、次いで「広丘小学校」が 17.6%となっている。

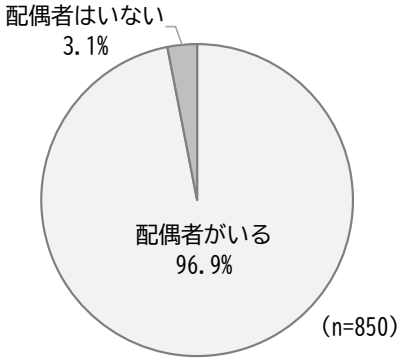
2） 調査回答者

	度数（人）	割合（%）
母親	729	85.8
父親	121	14.2
合計	850	100.0



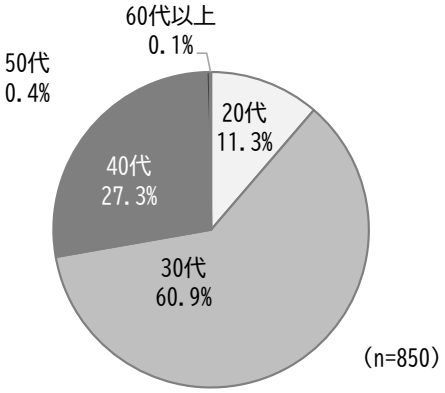
3） 調査回答者の配偶者の有無

	度数（人）	割合（%）
配偶者がいる	824	96.9
配偶者はいない	26	3.1
合計	850	100.0



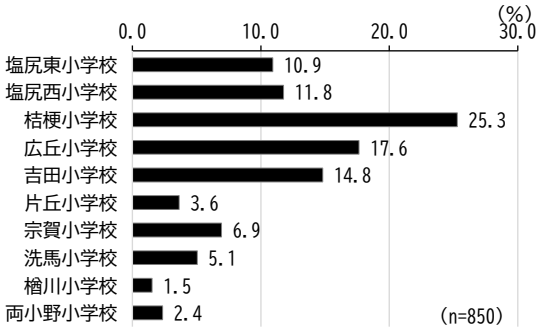
4） 調査回答者の年齢

	度数（人）	割合（%）
20代	96	11.3
30代	518	60.9
40代	232	27.3
50代	3	0.4
60代以上	1	0.1
合計	850	100.0



5） 居住地区（小学校区）

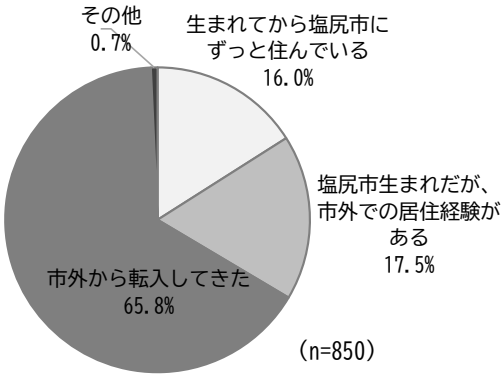
	度数（人）	割合（%）
塩尻東小学校	93	10.9
塩尻西小学校	100	11.8
桔梗小学校	215	25.3
広丘小学校	150	17.6
吉田小学校	126	14.8
片丘小学校	31	3.6
宗賀小学校	59	6.9
洗馬小学校	43	5.1
楢川小学校	13	1.5
両小野小学校	20	2.4
合計	850	100.0



- 塩尻市外での居住経験は、「市外から転入してきた」が 65.8%と半数以上を占めている。
- 主に従事している職業については、「サービス業」が 50.2%と最も多く、次いで「製造業」が 16.4%となっている。
- 世帯年収は、「600～700 万円」が 15.3%と最も多い。

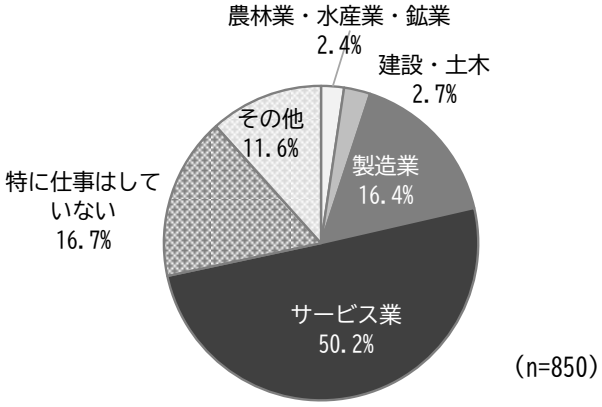
6） 居住経験

	度数（人）	割合（%）
生まれてから塩尻市にずっと住んでいる	136	16.0
塩尻市生まれだが、市外での居住経験がある	149	17.5
市外から転入してきた	559	65.8
その他	6	0.7
合計	850	100.0



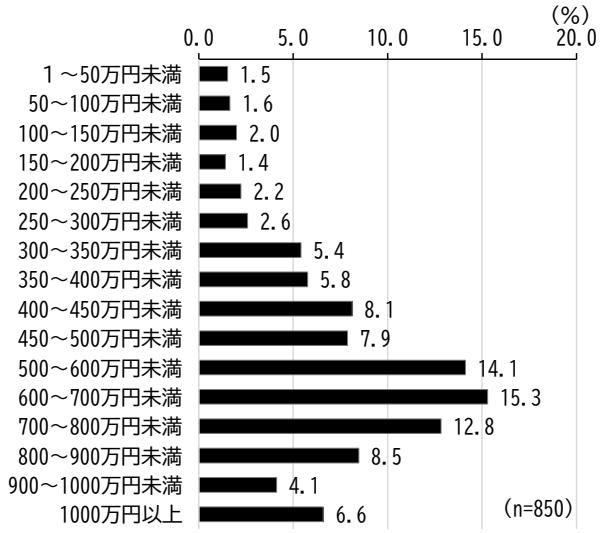
7） 主に従事している職業

	度数（人）	割合（%）
農林業・水産業・鉱業	20	2.4
建設・土木	23	2.7
製造業	139	16.4
サービス業	427	50.2
特に仕事はしていない	142	16.7
その他	99	11.6
合計	850	100.0



8） 世帯年収

	度数（人）	割合（%）
1～50万円未満	13	1.5
50～100万円未満	14	1.6
100～150万円未満	17	2.0
150～200万円未満	12	1.4
200～250万円未満	19	2.2
250～300万円未満	22	2.6
300～350万円未満	46	5.4
350～400万円未満	49	5.8
400～450万円未満	69	8.1
450～500万円未満	67	7.9
500～600万円未満	120	14.1
600～700万円未満	130	15.3
700～800万円未満	109	12.8
800～900万円未満	72	8.5
900～1000万円未満	35	4.1
1000万円以上	56	6.6
合計	850	100.0

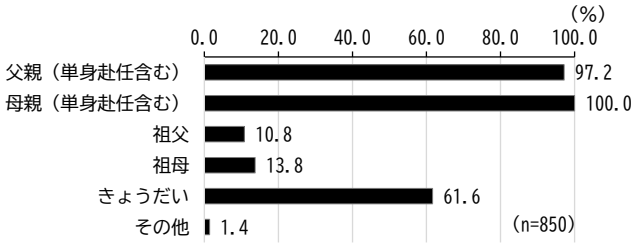


※

- 同居家族は「母親」が 100%、「父親」が 97.2%と圧倒的に多く、次いで「きょうだい」「祖母」「祖父」の順に多い。
- 子育てを主に行っているのは、「父母共に」が 55.1%、「主に母親」が 44.7%となっている。なお、前回調査から「父母共に」の割合が 17.3 ポイント増加し、「主に母親」の割合は 15.4 ポイント減少している。
- 日頃あずかってもらえる人については、「祖父母などの親族・同居人」を 65.8%があげており、そのうち 40.4%が日常的にあずかってもらえると回答している。一方で、日常的にあずかってもらえる人がいない割合は 31.5%みられる。

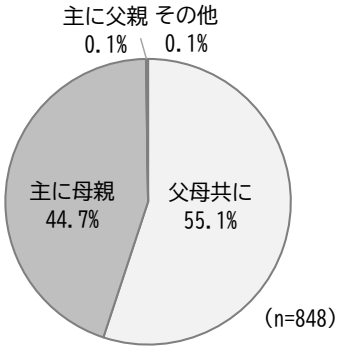
9） お子さんからみた同居家族（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
父親（単身赴任含む）	826	97.2
母親（単身赴任含む）	850	100.0
祖父	92	10.8
祖母	117	13.8
きょうだい	524	61.6
その他	12	1.4
回答者数	850	

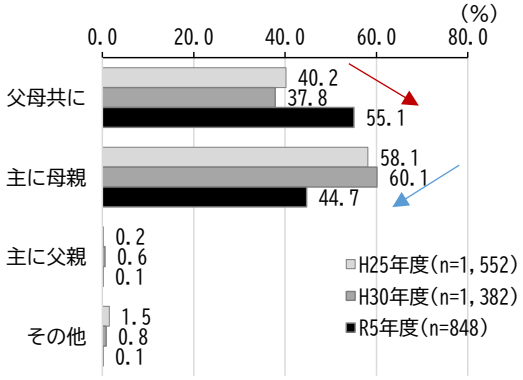


10）子育てを主に行っている人

	度数（人）	割合（%）
父母共に	467	55.1
主に母親	379	44.7
主に父親	1	0.1
その他	1	0.1
合計	848	100.0

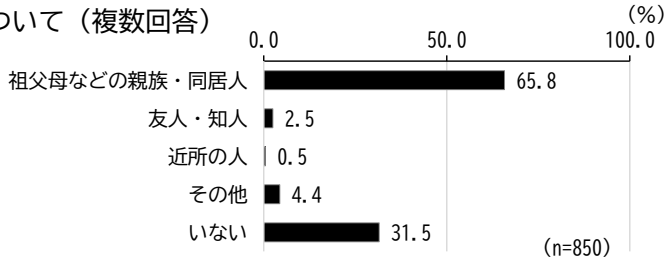


＜過年度との比較＞



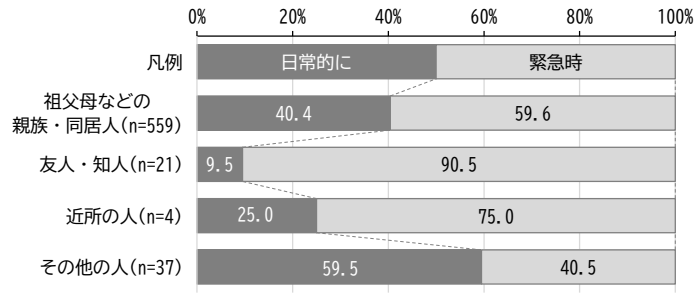
11）日頃、お子さんをあずかってもらえる親族・知人等について（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
祖父母などの親族・同居人	559	65.8
友人・知人	21	2.5
近所の人	4	0.5
その他	37	4.4
いない	268	31.5
回答者数	850	



12）あずかってもらえる頻度

		度数（人）	割合（%）
祖父母などの親族・同居人(n=559)	日常的に	226	40.4
	緊急時に	333	59.6
友人・知人(n=21)	日常的に	2	9.5
	緊急時に	19	90.5
近所の人(n=4)	日常的に	1	25.0
	緊急時に	3	75.0
その他の人(n=37)	日常的に	22	59.5
	緊急時に	15	40.5

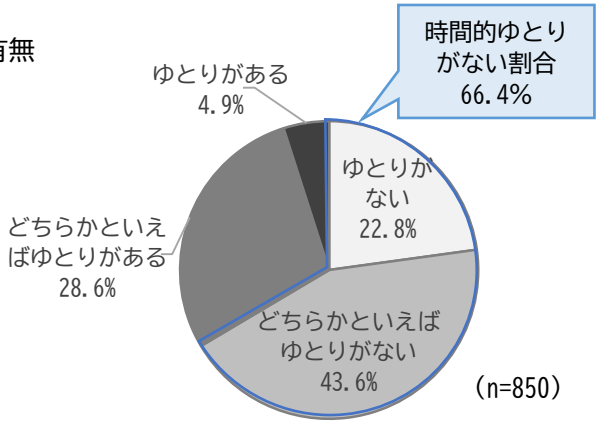


• 普段の暮らしにおける時間的なゆとりと経済的なゆとりの状況をみると、時間的なゆとりがないとする割合は66.4%、経済的なゆとりがない割合は60.9%となっている。

13）普段の暮らしにおける時間的なゆとりと経済的なゆとりの有無

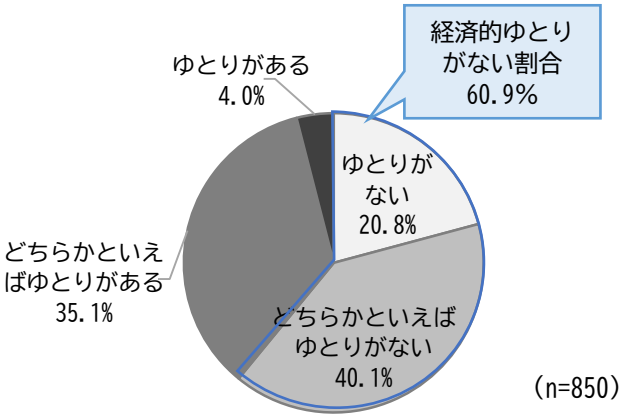
①時間的なゆとり

	度数（人）	割合（%）
ゆとりがない	194	22.8
どちらかといえばゆとりがない	371	43.6
どちらかといえばゆとりがある	243	28.6
ゆとりがある	42	4.9
合計	850	100.0



②経済的なゆとり

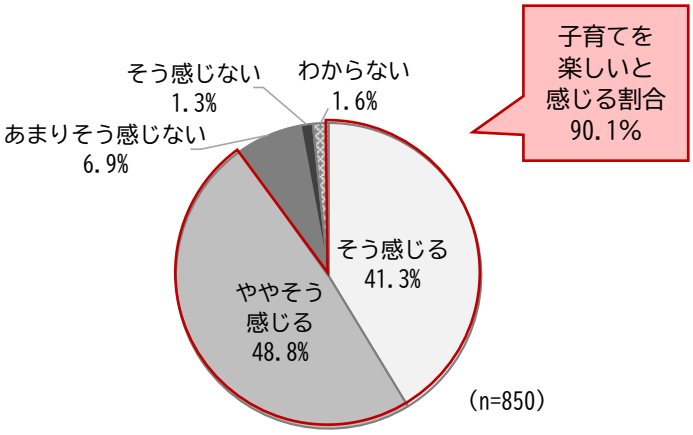
	度数（人）	割合（%）
ゆとりがない	177	20.8
どちらかといえばゆとりがない	341	40.1
どちらかといえばゆとりがある	298	35.1
ゆとりがある	34	4.0
合計	850	100.0



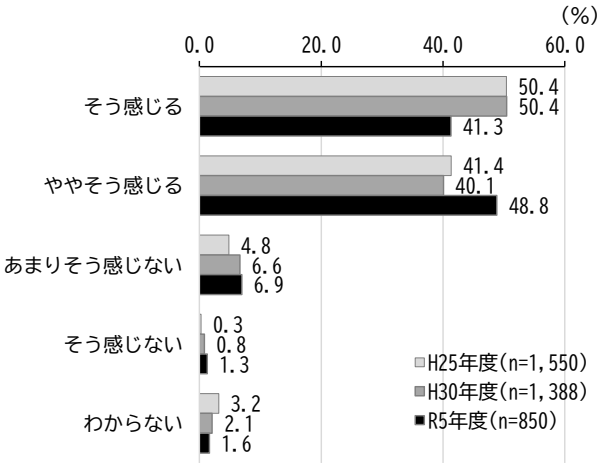
- 子育てを楽しいと感じる回答者は 90.1%、楽しいと感じないという人は 8.2%程度である。前回調査から「そう感じる」の割合が 9.1 ポイント減少し、「ややそう感じる」の割合は 8.7 ポイント増加している。
- 時間的・経済的ゆとり別にみると、時間・経済的それぞれにおいてゆとりがある者において「そう感じる」とする割合が市全体に比べて高くなっている。一方、時間・経済的それぞれにおいてゆとりがない者において「あまりそう感じない」とする割合が市全体に比べて高い。

14）子育てを楽しいと感じるか

	度数（人）	割合（%）
そう感じる	351	41.3
ややそう感じる	415	48.8
あまりそう感じない	59	6.9
そう感じない	11	1.3
わからない	14	1.6
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



＜クロス集計＞

【時間的ゆとり別】

	そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	わからない	回答者数
ゆとりがない	30.9%	49.0%	15.5%	3.1%	1.5%	194
どちらかといえばゆとりがない	37.7%	52.6%	6.2%	1.1%	2.4%	371
どちらかといえばゆとりがある	49.0%	47.3%	2.5%	0.4%	0.8%	243
ゆとりがある	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	42
市全体	41.3%	48.8%	6.9%	1.3%	1.6%	850

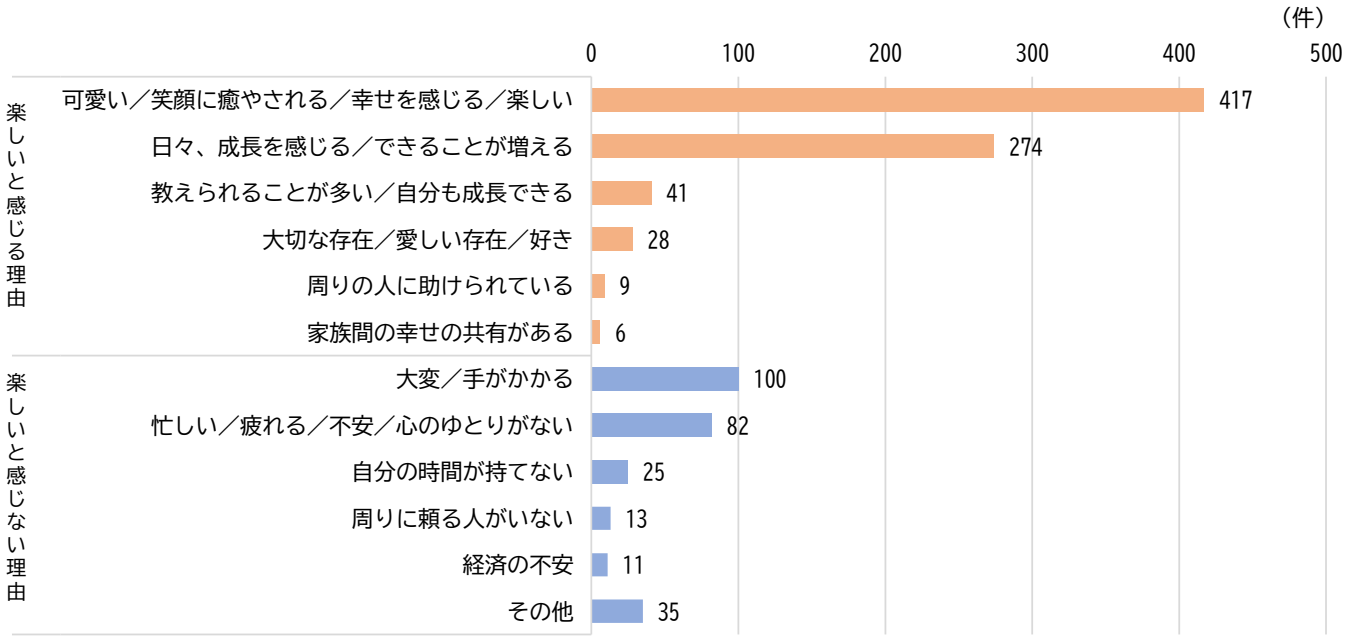
【経済的ゆとり別】

	そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	わからない	回答者数
ゆとりがない	35.0%	46.9%	12.4%	4.0%	1.7%	177
どちらかといえばゆとりがない	37.0%	52.8%	7.0%	0.9%	2.3%	341
どちらかといえばゆとりがある	47.7%	46.6%	4.4%	0.3%	1.0%	298
ゆとりがある	61.8%	38.2%	0.0%	0.0%	0.0%	34
市全体	41.3%	48.8%	6.9%	1.3%	1.6%	850

※赤色、緑色のセルともに、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 子育てを楽しいと感じる理由を自由記述よりみてみると、「可愛い／笑顔に癒やされる／幸せを感じる／楽しい」といった理由が最も多く、次いで「日々、成長を感じる／できることが増える」という理由が多くなっている。
- 一方で楽しくないと感じる理由としては、「大変／手がかかる」が最も多く挙げられている。また、時間的なゆとりに関連し、「忙しい／疲れる／心のゆとりがない」という理由も次いで多くみられる。

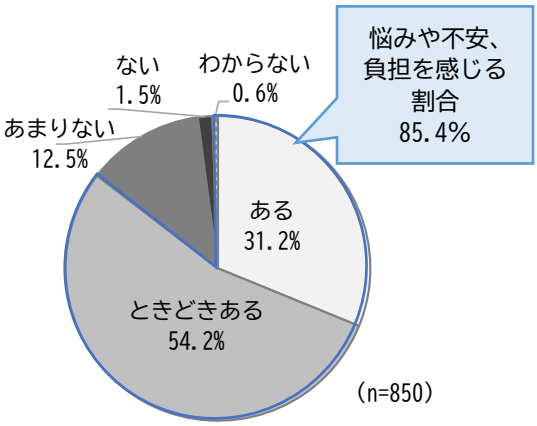
＜自由記述の主な内容＞



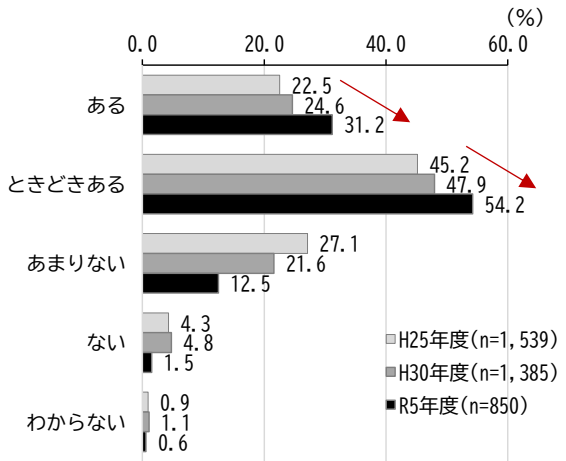
- 85.4%の保護者が子育ての不安や負担があると回答している。過年度と比べ、子育ての不安、負担を感じるという者の割合が増えており、年々増加がみられる。
- 時間的・経済的ゆとり別にみると、時間・経済的それぞれにおいてゆとりがない者において「ある」とする割合が市全体に比べて高く、時間・経済的それぞれにおいてゆとりがある者において「あまりない」とする割合が市全体に比べて高い。
- 子育てに関する相談先の有無別では、「いない/ない」者において、子育ての不安、負担を感じるという者の割合が市全体より高くなっている。

15）子育てをする上で悩みや不安､負担を感じることはあるか

	度数（人）	割合（%）
ある	265	31.2
ときどきある	461	54.2
あまりない	106	12.5
ない	13	1.5
わからない	5	0.6
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



＜クロス集計＞

【時間的ゆとり別】

	ある	ときどきある	あまりない	ない	わからない	回答者数
ゆとりがない	50.0%	42.8%	6.7%	0.5%	0.0%	194
どちらかといえばゆとりがない	28.3%	58.5%	11.1%	1.3%	0.8%	371
どちらかといえばゆとりがある	23.5%	57.2%	16.5%	2.5%	0.4%	243
ゆとりがある	14.3%	52.4%	28.6%	2.4%	2.4%	42
市全体	31.2%	54.2%	12.5%	1.5%	0.6%	850

【経済的ゆとり別】

	ある	ときどきある	あまりない	ない	わからない	回答者数
ゆとりがない	43.5%	42.9%	12.4%	0.0%	1.1%	177
どちらかといえばゆとりがない	32.6%	55.7%	10.0%	1.5%	0.3%	341
どちらかといえばゆとりがある	23.5%	59.7%	14.1%	2.0%	0.7%	298
ゆとりがある	20.6%	50.0%	23.5%	5.9%	0.0%	34
市全体	31.2%	54.2%	12.5%	1.5%	0.6%	850

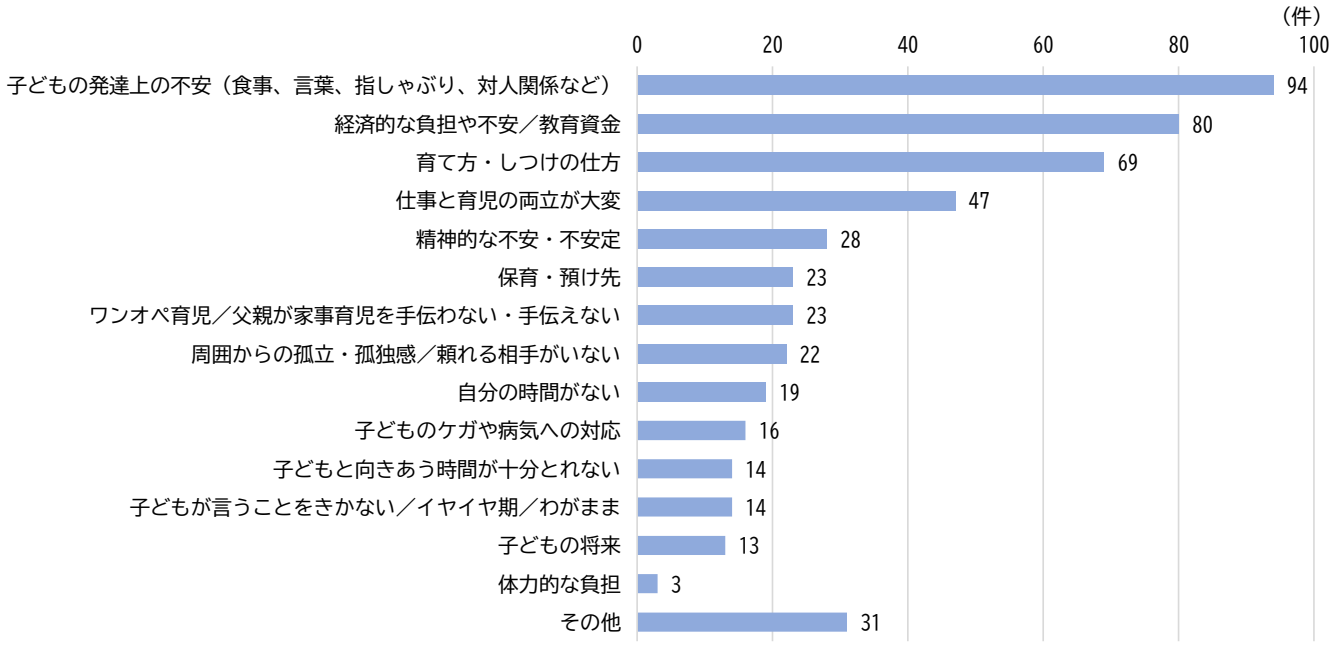
【子育てに関する相談先の有無別】

	ある	ときどきある	あまりない	ない	わからない	回答者数
いる/ある	29.7%	55.0%	12.9%	1.7%	0.7%	765
いない/ない	44.7%	47.1%	8.2%	0.0%	0.0%	85
市全体	31.2%	54.2%	12.5%	1.5%	0.6%	850

※赤色、緑色のセルともに、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

・子育ての不安、負担の具体的な内容をみると、「子どもの発達上の不安（食事、言葉、指しゃぶり、対人関係など）」が最も多く挙げられている。次いで、経済的なゆとりの有無に関連して「経済的な負担や不安／教育資金」が多くなっている。その他、「育て方・しつけの仕方」「仕事と育児の両立」も多く挙げられている。

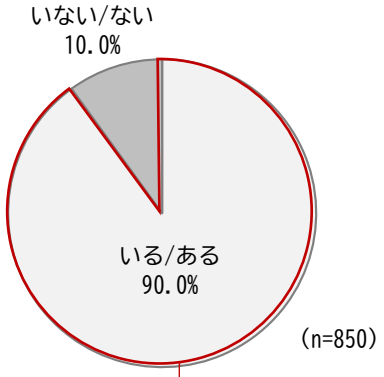
＜自由記述の主な内容＞



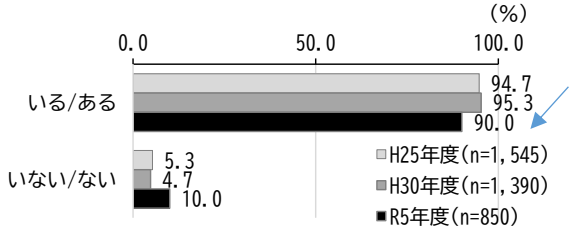
- 子育てについて気軽に相談できる相手・場所が「いる/ある」と回答する割合は 90.0%となっているが、10.0%は「いない」と回答している。前回調査と比較し、「いる/ある」の割合が 5.3 ポイント減少している。
- 相談相手は「配偶者」が 84.6%と最も多く、次いで、「祖父母などの親族・同居人」「友人や知人」となっている。過年度と比べ、「配偶者」や「子育て支援施設」の割合は増加傾向がみられる。一方、「祖父母などの親族・同居人」や「友人や知人」「近所の人」という回答の割合は減少している。

16）子育てについて気軽に相談できる相手・場所の有無

	度数（人）	割合（%）
いる/ある	765	90.0
いない/ない	85	10.0
合計	850	100.0

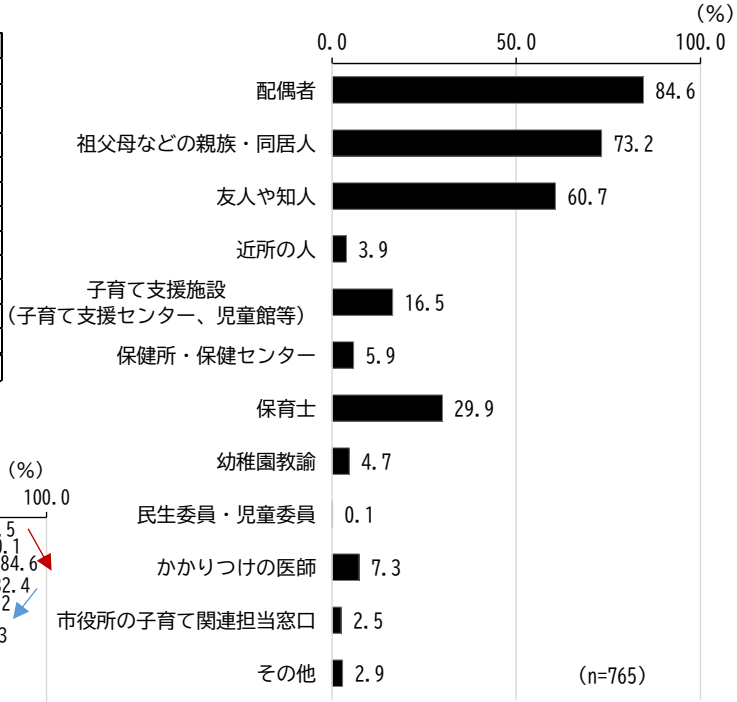


＜過年度との比較＞

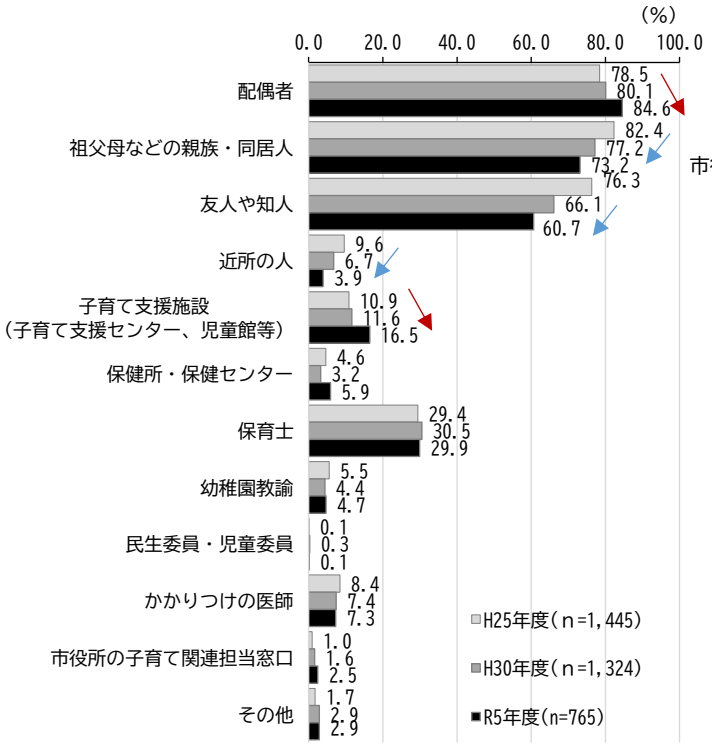


17）相談先（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
配偶者	647	84.6
祖父母などの親族・同居人	560	73.2
友人や知人	464	60.7
近所の人	30	3.9
子育て支援施設（子育て支援センター、児童館	126	16.5
保健所・保健センター	45	5.9
保育士	229	29.9
幼稚園教諭	36	4.7
民生委員・児童委員	1	0.1
かかりつけの医師	56	7.3
市役所の子育て関連担当窓口	19	2.5
その他	22	2.9
回答者数	765	



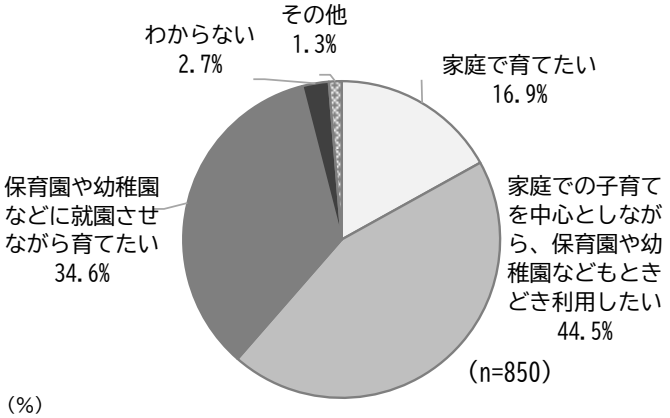
＜過年度との比較＞



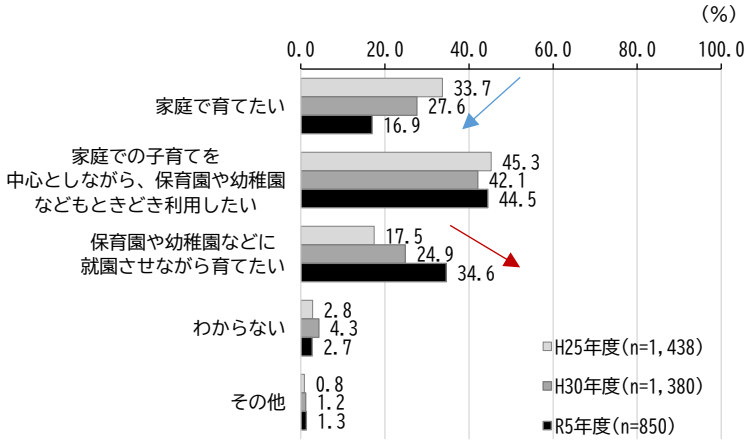
- 望ましい子育て環境については、「家庭での子育てを中心としながら保育園や幼稚園などもときどき利用したい」という人が 44.5%で最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に就園させながら育てたい」が 34.6%となっている。年々、「家庭で育てたい」という人が減り、「保育園等に就園」という割合が増加している。
- 望ましい子育て環境についての具体的な理由をみると、家庭で育てる理由としては、「愛情を大切にしたい（自分にとって一度きりの時間を大切にしたい）」が最も多く、保育園等を利用する理由としては「親が仕事と子育てを両立できる」という理由が最も多くなっている。

18）お子さんの３歳までの望ましい子育て環境

	度数（人）	割合（%）
家庭で育てたい	144	16.9
家庭での子育てを中心としながら、保育園や幼稚園などもときどき利用したい	378	44.5
保育園や幼稚園などに就園させながら育てたい	294	34.6
わからない	23	2.7
その他	11	1.3
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



- 保護者の職業別でみると、「農林業・水産業・鉱業」や「建設・土木」に従事している保護者では「家庭での子育てを中心としながら保育園や幼稚園などもときどき利用したい」とする割合が市全体よりも高く、「製造業」に従事している保護者では「保育園や幼稚園などに就園させながら育てたい」とする割合が市全体よりも高い。
- 地区別でみると、片丘小学校では「家庭での子育てを中心としながら保育園や幼稚園などもときどき利用したい」とする割合が市全体よりも高く、「吉田小学校」「楢川小学校」「両小野小学校」では「保育園や幼稚園などに就園させながら育てたい」とする割合が市全体よりも高い。なお、「楢川小学校」では「家庭で育てたい」割合も市全体より高くなっている。

＜クロス集計＞

【保護者の職業別】

	家庭で育てたい	家庭での子育てを中心としながら、保育園や幼稚園などもときどき利用したい	保育園や幼稚園などに就園させながら育てたい	わからない	その他	回答者数
農林業・水産業・鉱業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20
建設・土木	8.7%	52.2%	39.1%	0.0%	0.0%	23
製造業	7.2%	38.1%	48.2%	5.0%	1.4%	139
サービス業	14.8%	44.0%	37.0%	3.0%	1.2%	427
特に仕事はしていない	31.0%	50.7%	16.2%	1.4%	0.7%	142
その他	21.2%	41.4%	33.3%	1.0%	3.0%	99
市全体	16.9%	44.5%	34.6%	2.7%	1.3%	850

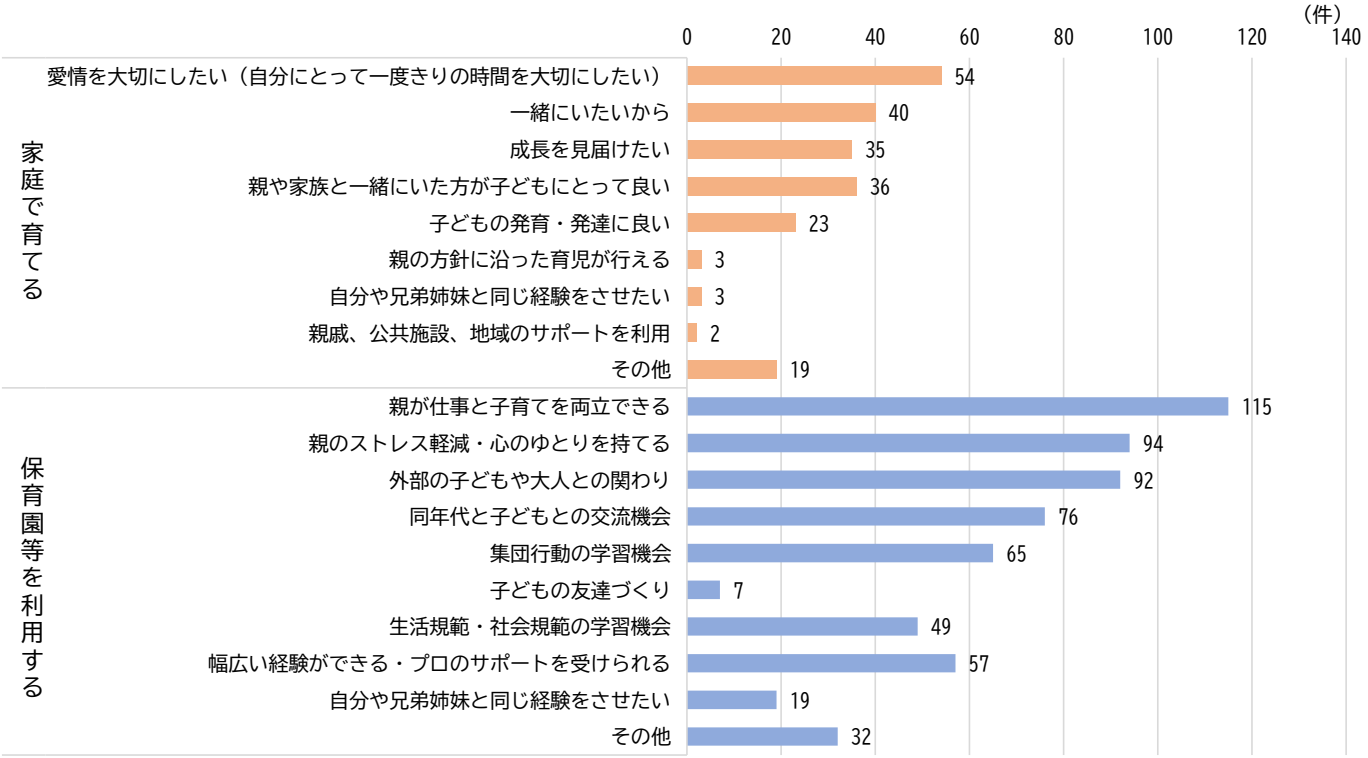
【地区別】

	家庭で育てたい	家庭での子育てを中心としながら、保育園や幼稚園などもときどき利用したい	保育園や幼稚園などに就園させながら育てたい	わからない	その他	回答者数
塩尻東小学校	15.1%	48.4%	31.2%	3.2%	2.2%	93
塩尻西小学校	19.0%	42.0%	34.0%	3.0%	2.0%	100
桔梗小学校	17.7%	46.5%	32.6%	2.8%	0.5%	215
広丘小学校	16.7%	42.7%	34.7%	4.7%	1.3%	150
吉田小学校	16.7%	40.5%	41.3%	0.8%	0.8%	126
片丘小学校	6.5%	58.1%	32.3%	0.0%	3.2%	31
宗賀小学校	18.6%	42.4%	33.9%	3.4%	1.7%	59
洗馬小学校	20.9%	48.8%	27.9%	0.0%	2.3%	43
楢川小学校	23.1%	23.1%	46.2%	7.7%	0.0%	13
両小野小学校	10.0%	45.0%	45.0%	0.0%	0.0%	20
市全体	16.9%	44.5%	34.6%	2.7%	1.3%	850

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 望ましい子育て環境については、「家庭での子育てを中心としながら保育園や幼稚園などもときどき利用したい」という人が 44.5%で最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に就園させながら育てたい」が 34.6%となっている。年々、「家庭で育てたい」という人が減り、「保育園等に就園」という割合が増加している。
- 望ましい子育て環境についての具体的な理由をみると、家庭で育てる理由としては、「愛情を大切にしたい（自分にとって一度きりの時間を大切にしたい）」が最も多く、保育園等を利用する理由としては「親が仕事と子育てを両立できる」という理由が最も多くなっている。

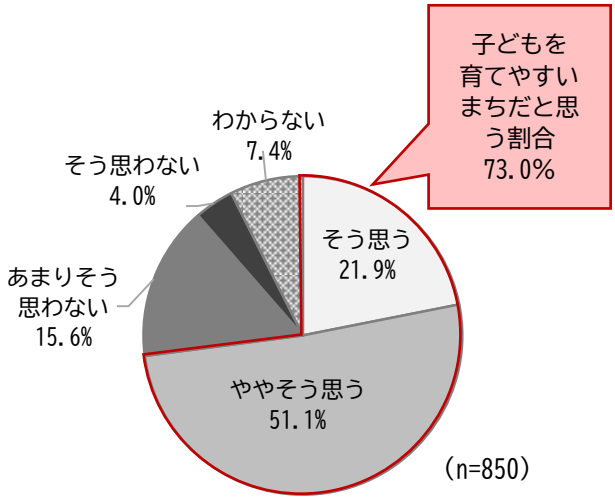
＜自由記述の主な内容＞



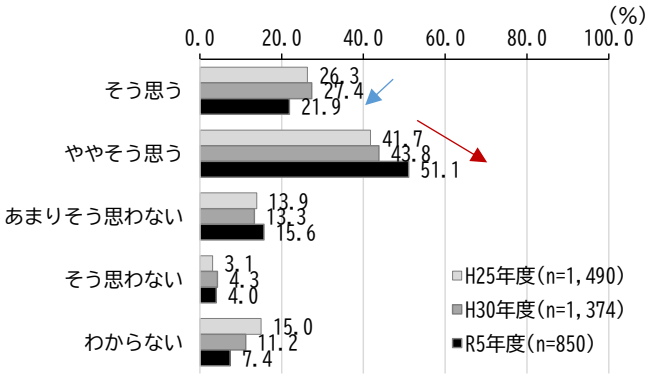
- 塩尻市の子育てのしやすさについては、「そう思う」が 21.9%、「ややそう思う」が 51.1%で、あわせると 73.0%の人が子育てしやすいまちと評価している。前回調査よりも「そう思う」割合は 5.5 ポイント減少し、「ややそう思う」の割合が 7.3 ポイント増加している。
- 時間的・経済的ゆとり別にみると、時間的・経済的それぞれにおいて「ゆとりがある」とする者ほど「そう思う」とする割合は高い。
- 子育てに関する相談先の有無別では、「いない/ない」者において、子育てをしにくいと感じている傾向がある。

19）塩尻市は子どもを育てやすいまちか

	度数（人）	割合（%）
そう思う	186	21.9
ややそう思う	434	51.1
あまりそう思わない	133	15.6
そう思わない	34	4.0
わからない	63	7.4
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



＜クロス集計＞

【時間的ゆとり別】

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	回答者数
ゆとりがない	19.6%	47.9%	19.1%	6.7%	6.7%	194
どちらかといえばゆとりがない	21.6%	50.1%	16.2%	4.3%	7.8%	371
どちらかといえばゆとりがある	22.6%	55.6%	11.5%	2.1%	8.2%	243
ゆとりがある	31.0%	47.6%	19.0%	0.0%	2.4%	42
市全体	21.9%	51.1%	15.6%	4.0%	7.4%	850

【経済的ゆとり別】

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	回答者数
ゆとりがない	13.0%	50.3%	18.6%	7.3%	10.7%	177
どちらかといえばゆとりがない	20.5%	53.7%	16.7%	4.4%	4.7%	341
どちらかといえばゆとりがある	26.8%	48.7%	14.1%	2.0%	8.4%	298
ゆとりがある	38.2%	50.0%	2.9%	0.0%	8.8%	34
市全体	21.9%	51.1%	15.6%	4.0%	7.4%	850

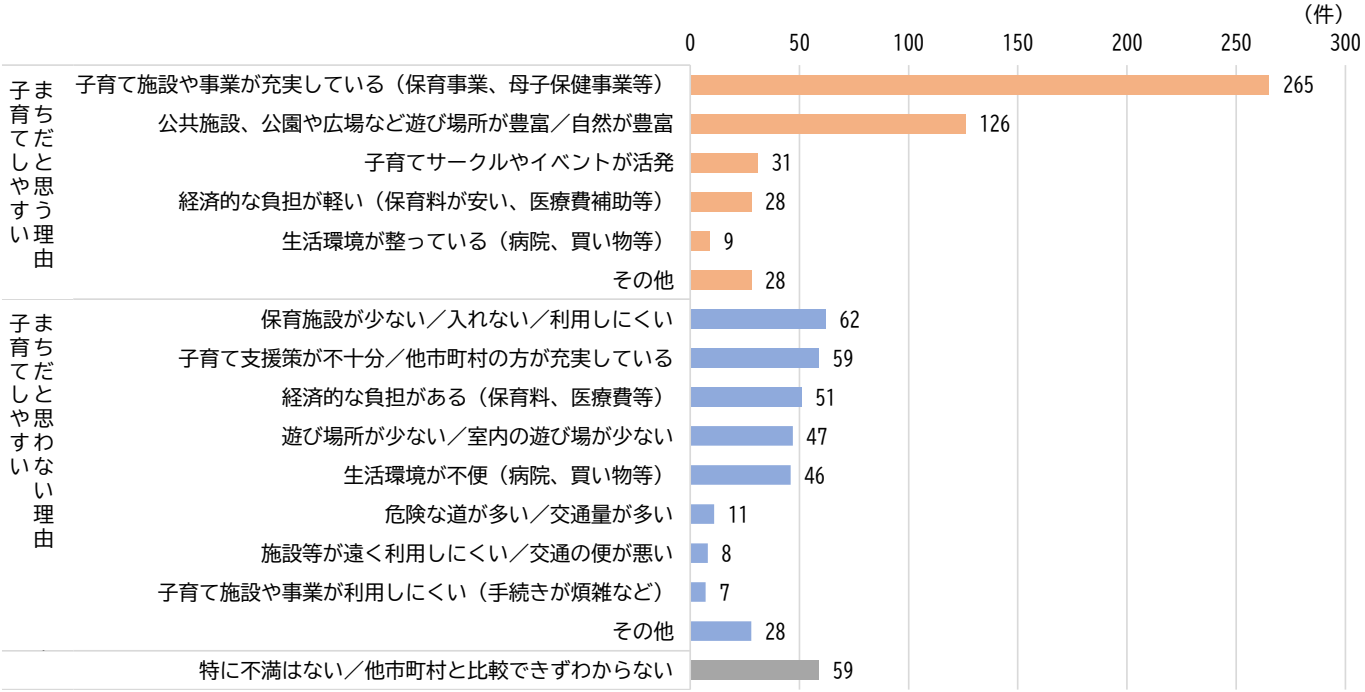
【子育てに関する相談先の有無別】

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	回答者数
いる/ある	23.0%	51.9%	15.0%	3.4%	6.7%	765
いない/ない	11.8%	43.5%	21.2%	9.4%	14.1%	85
市全体	21.9%	51.1%	15.6%	4.0%	7.4%	850

※赤色、緑色のセルともに、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 塩尻市の子育てのしやすさに関する自由記述をみると、「子育て施設や事業が充実している（保育事業、母子保健事業等）」が最も多く、次いで「公共施設、公園や広場など遊び場所が豊富／自然が豊富」といった子育て環境が整えられているといった意見が多く挙げられている。
- 一方で「保育施設が少ない／入れない／利用しにくい」や「子育て支援策が不十分／他市町村の方が充実している」、「経済的な負担がある（保育料、医療費等）」といった意見も一定数みられる。

＜自由記述の主な内容＞



- 子どもの人数は「2 人」が 43.6%と最も多く、次いで「1 人」が 37.5%である。なお、平均は 1.86 人で、平成 30 年度と同様の平均人数となっている。
- 理想の子どもの人数をみると、「2 人」が 46.2%で最も多く、次いで「3 人」が 39.4%となっている。
- 今後希望したい子どもの人数は、「もう予定していない」とする割合は 44.5%で、残りの 55.5%は現在より子どもを増やしたいとしている。
- 今後子どもを増やしたいと希望する者のうち、希望する子どもの人数を叶えるには、「経済負担の改善」が 82.7%と最も高く、次いで「心身負担の改善」が必要な環境として多くあげられている。

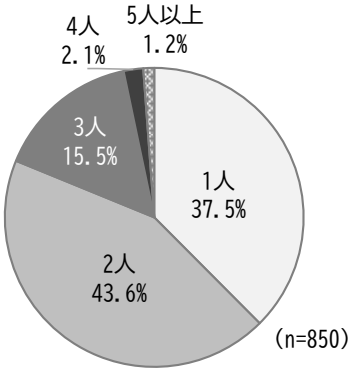
20）子どもの人数

①現在の子どもの人数

	度数（人）	割合（%）
1人	319	37.5
2人	371	43.6
3人	132	15.5
4人	18	2.1
5人以上	10	1.2
合計	850	100.0

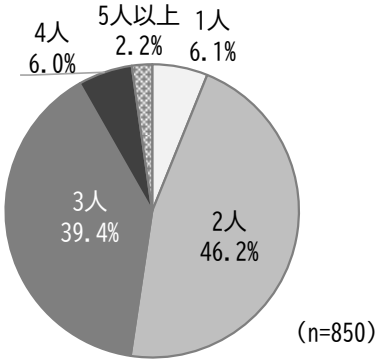
平均：1.86 人

【参考】
H25 年度　1.89 人
H30 年度　1.86 人



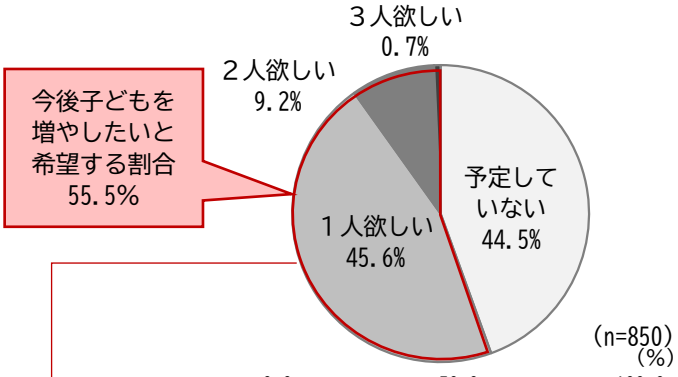
②将来の理想の子どもの人数

	度数（人）	割合（%）
1人	52	6.1
2人	393	46.2
3人	335	39.4
4人	51	6.0
5人以上	19	2.2
合計	850	100.0



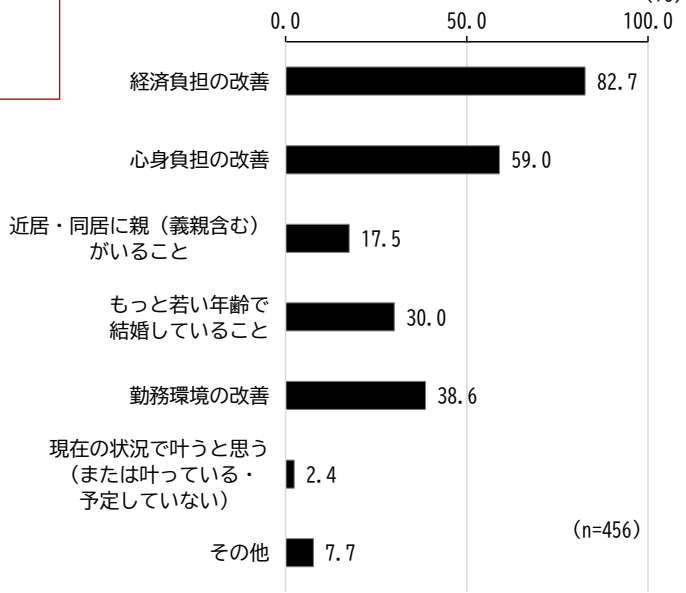
③今後希望したい子どもの人数

	度数（人）	割合（%）
予定していない	378	44.5
１人欲しい	388	45.6
２人欲しい	78	9.2
３人欲しい	6	0.7
合計	850	100.0



④希望する子どもの人数を叶える環境（複数）

	度数（人）	割合（%）
経済負担の改善	377	82.7
心身負担の改善	269	59.0
近居・同居に親（義親含む）がいること	80	17.5
もっと若い年齢で結婚していること	137	30.0
勤務環境の改善	176	38.6
現在の状況で叶うと思う（または叶っている・予定していない）	11	2.4
その他	35	7.7
回答者数	456	



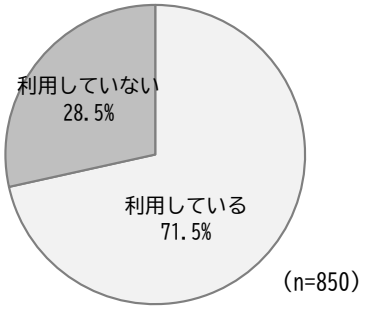
（2）幼稚園、保育園などの定期的な利用について

- 現在、平日に定期的に教育･保育事業を利用している者は 71.5%である。年々、利用している割合は増加傾向にある。
- 利用している教育・保育事業では｢認可保育所｣が 79.1%と最も多く、次いで「幼稚園」が 7.7%となっており、認可保育所利用者が多くを占めている。過年度と比較し、「認可保育所」や「幼稚園」の利用が減り、「認定こども園」の利用がやや増えている。

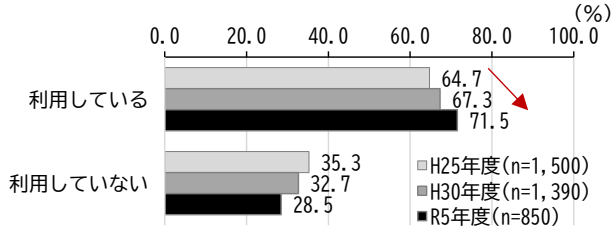
1） 平日の定期的な利用状況

①平日の定期的な教育・保育の事業の利用の有無

	度数（人）	割合（%）
利用している	608	71.5
利用していない	242	28.5
合計	850	100.0



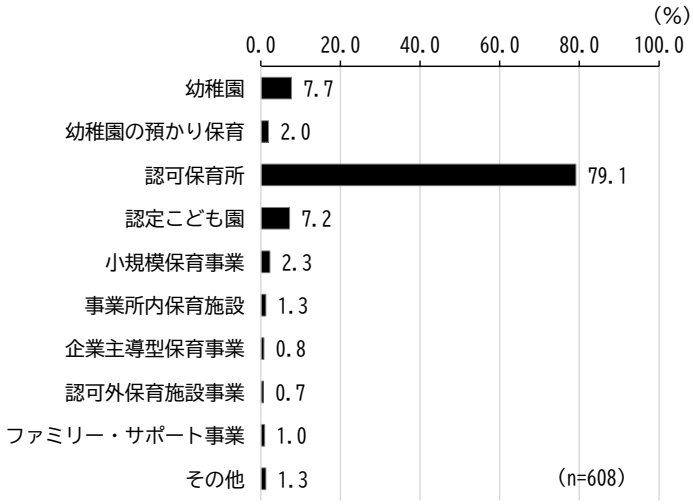
＜過年度との比較＞



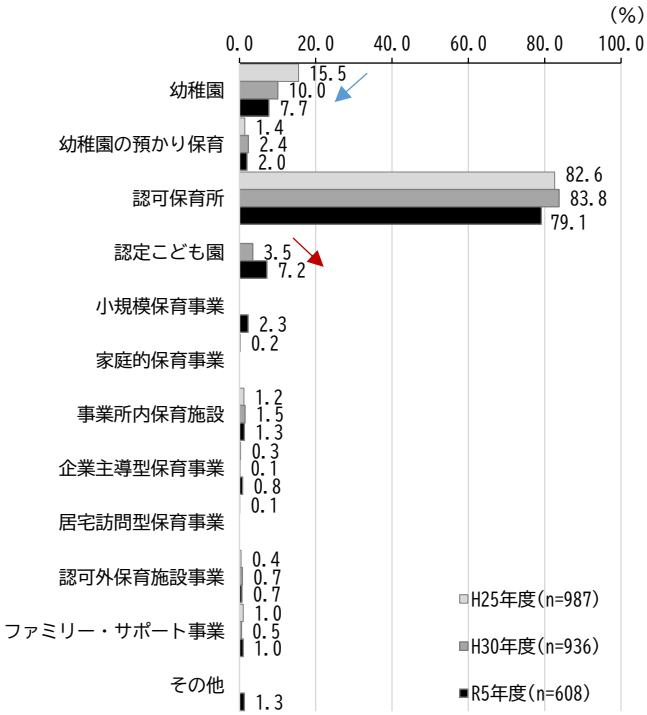
＜回答対象者：平日の定期的な教育・保育の事業の利用している者＞

②利用している教育・保育事業（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
幼稚園	47	7.7
幼稚園の預かり保育	12	2.0
認可保育所	481	79.1
認定こども園	44	7.2
小規模保育事業	14	2.3
事業所内保育施設	8	1.3
企業主導型保育事業	5	0.8
認可外保育施設事業	4	0.7
ファミリー・サポート事業	6	1.0
その他	8	1.3
回答者数	608	



＜過年度との比較＞



- 学齢別にみると「0 歳児」で「事業所内保育施設」「ファミリー・サポート事業」の利用率が他の学齢より高くなっている。その他、「1～2 歳児」で「小規模保育事業」が、「年中」で「幼稚園」が市全体より高くなっている。
- 地区別にみると、「塩尻西小学校」で「幼稚園」、「楢川小学校」で「幼稚園の預かり保育」、「洗馬小学校」「楢川小学校」「両小野小学校」で「認可保育所」の利用割合が市全体より高くみられる。
- 経済的ゆとり別では、「ゆとりがない」とする者において「認可保育所」の利用割合が高く、「ゆとりがある」とする者において「認定こども園」の利用割合が高い。
- 保護者の職業別では、職業問わず「認可保育園」を利用する割は高い。その他、「建築・土木」に従事している保護者では「認定こども園」の利用割合が市全体より高くなっている。

＜クロス集計＞

【学齢別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
0歳児	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	6
0-1歳児	2.4%	0.0%	81.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	4.8%	42
1-2歳児	0.0%	1.4%	73.0%	5.4%	10.8%	0.0%	5.4%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	74
2-3歳児	5.3%	0.0%	80.9%	6.4%	4.3%	0.0%	1.1%	2.1%	0.0%	1.1%	1.1%	1.1%	94
年少	11.2%	2.2%	82.1%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.5%	134
年中	13.2%	3.7%	77.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	136
年長	7.0%	2.6%	80.7%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	114
市全体	7.7%	2.0%	79.1%	7.2%	2.3%	0.0%	1.3%	0.8%	0.7%	0.0%	1.0%	1.3%	608

【地区別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
塩尻東小学校	3.0%	1.5%	83.3%	4.5%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	1.5%	3.0%	1.5%	66
塩尻西小学校	15.4%	0.0%	75.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	65
桔梗小学校	9.0%	2.6%	75.5%	9.0%	3.9%	0.0%	1.3%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	155
広丘小学校	7.8%	1.0%	81.4%	3.9%	3.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	102
吉田小学校	8.0%	1.1%	74.7%	10.3%	1.1%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.1%	1.1%	2.3%	87
片丘小学校	8.0%	4.0%	80.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25
宗賀小学校	5.8%	3.8%	82.7%	7.7%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	52
洗馬小学校	3.4%	3.4%	86.2%	3.4%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29
楢川小学校	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10
両小野小学校	0.0%	0.0%	88.2%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	17
市全体	7.7%	2.0%	79.1%	7.2%	2.3%	0.0%	1.3%	0.8%	0.7%	0.0%	1.0%	1.3%	608

【経済的ゆとり別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
ゆとりがない	1.5%	0.0%	85.5%	6.1%	3.1%	0.0%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	177
どちらかといえばゆとりがない	7.8%	3.4%	78.0%	9.1%	2.2%	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.9%	1.3%	1.3%	341
どちらかといえばゆとりがある	11.2%	1.3%	77.2%	5.4%	2.2%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	0.9%	0.9%	1.8%	298
ゆとりがある	9.5%	4.8%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	34
市全体	7.7%	2.0%	79.1%	7.2%	2.3%	0.0%	1.3%	0.8%	0.0%	0.7%	1.0%	1.3%	850

【保護者の職業別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
農林業・水産業・鉱業	5.3%	0.0%	84.2%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19
建設・土木	4.8%	4.8%	81.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21
製造業	2.6%	0.0%	91.4%	5.2%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.7%	0.9%	116
サービス業	4.6%	1.7%	80.6%	7.2%	2.9%	0.0%	2.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.3%	1.7%	346
特に仕事はしていない	62.5%	6.3%	18.8%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.1%	32
その他	8.1%	4.1%	77.0%	6.8%	2.7%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	2.7%	1.4%	0.0%	74
市全体	7.7%	2.0%	79.1%	7.2%	2.3%	0.0%	1.3%	0.8%	0.0%	0.7%	1.0%	1.3%	608

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 現在の利用開始時間は「～8 時」と「～9 時」でほとんどを占めている。終了時間は「～17 時」が最も多く 43.1%となっている。利用頻度は 1 週当たり「～5 日」が 93.1%を占めて最も多い。
- 希望の時間帯については、「～7 時」という早朝保育を望む者が 8.1%となっており、現状よりも多い。終了時間についても、「～19 時」と回答する物は者が 12.1%となっており、夜間もやや現状より多くなっている。

＜回答対象者：平日の定期的な教育・保育の事業の利用している者＞

③現在の利用時間・利用頻度

△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	2	0.3
～8時	262	43.1
～9時	335	55.1
～10時	7	1.2
10時より後	2	0.3
合計	608	100.0

▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	2	0.3
～13時	3	0.5
～14時	16	2.6
～15時	37	6.1
～16時	100	16.4
～17時	262	43.1
～18時	131	21.5
～19時	57	9.4
19時より後	0	0.0
合計	608	100.0

◆1 週あたり日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	4	0.7
～2日	4	0.7
～3日	4	0.7
～4日	12	2.0
～5日	566	93.1
～6日	17	2.8
～7日	1	0.2
合計	608	100.0

④希望する利用頻度

△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	12	8.1
～8時	64	43.0
～9時	71	47.7
～10時	2	1.3
10時より後	0	0.0
合計	149	100.0

▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	0	0.0
～13時	0	0.0
～14時	0	0.0
～15時	9	6.0
～16時	29	19.5
～17時	62	41.6
～18時	31	20.8
～19時	18	12.1
合計	149	100.0

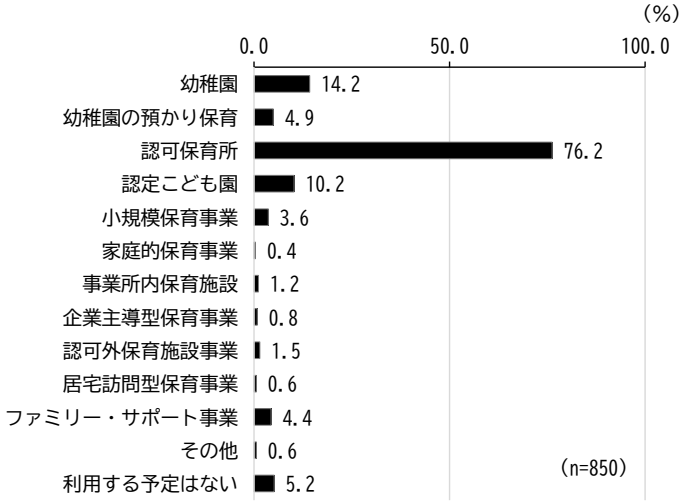
◆1 週あたり日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	2	1.3
～2日	0	0.0
～3日	2	1.3
～4日	6	4.0
～5日	123	82.6
～6日	16	10.7
合計	149	100.0

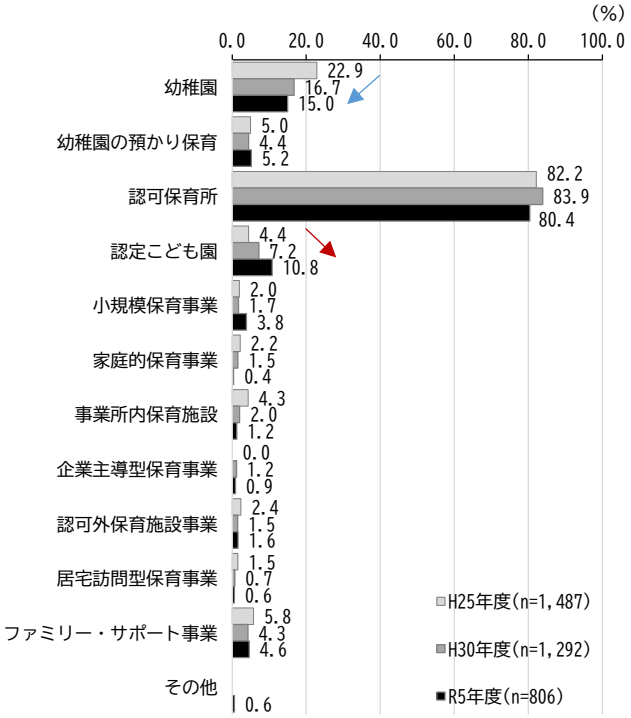
・今後、平日に定期的に利用する予定の事業は、「認可保育所」が 76.2%と最も多く、人数では、現状の 1.35 倍となっている。次いで、「幼稚園」「認定こども園」「幼稚園の預かり保育」が多くなっている。過年度と比較し、「幼稚園」の利用希望が減り、「認定こども園」の利用希望が増えている傾向がみられる。

⑤今後、平日の教育・保育の事業として、定期的に利用する予定の事業（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
幼稚園	121	14.2
幼稚園の預かり保育	42	4.9
認可保育所	648	76.2
認定こども園	87	10.2
小規模保育事業	31	3.6
家庭的保育事業	3	0.4
事業所内保育施設	10	1.2
企業主導型保育事業	7	0.8
認可外保育施設事業	13	1.5
居宅訪問型保育事業	5	0.6
ファミリー・サポート事業	37	4.4
その他	5	0.6
利用する予定はない	44	5.2
回答者数	850	



＜過年度との比較＞



※過年度調査との比較を行うため、令和５年度では「利用する予定はない」と回答した者を除いて算出している。

- 利用予定を現在の学齢別にみると、「1～2 歳児」において「幼稚園」の利用意向が他の学齢に比べ、高くみられる。
- 地区別には、「塩尻東小学校」「楢川小学校」「両小野小学校」で「認可保育所」、「吉田小学校」で「認定こども園」の利用意向率が他の地区に比べて高い。
- 経済的ゆとり別では、「ゆとりがない」とする者において「認可保育所」の利用意向が高く、「ゆとりがある」とする者において「認定こども園」の利用割合が高い。
- 保護者の職業別では、製造業を除く職業において「認可保育園」の利用意向が高くなっている。

＜クロス集計＞

【学齢別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
0歳児	18.4%	5.3%	82.9%	13.2%	7.9%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	6.6%	2.6%	76
0-1歳児	15.1%	3.2%	79.4%	11.9%	5.6%	0.8%	0.0%	0.0%	4.8%	1.6%	4.8%	0.8%	126
1-2歳児	22.2%	8.1%	77.8%	10.4%	7.4%	0.7%	4.4%	1.5%	0.7%	0.7%	5.2%	0.0%	135
2-3歳児	12.6%	4.2%	79.0%	8.4%	3.4%	0.0%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	4.2%	0.0%	119
年少	8.9%	3.0%	79.3%	6.7%	2.2%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	5.2%	1.5%	135
年中	14.0%	8.1%	70.6%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	3.7%	0.0%	136
年長	8.8%	2.6%	67.5%	10.5%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	114
市全体	15.0%	5.2%	80.4%	10.8%	3.8%	0.4%	1.2%	0.9%	1.6%	0.6%	4.6%	0.6%	806

【地区別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
塩尻東小学校	9.2%	4.6%	87.4%	4.6%	0.0%	0.0%	2.3%	1.1%	1.1%	1.1%	5.7%	0.0%	87
塩尻西小学校	16.5%	5.5%	79.1%	15.4%	3.3%	0.0%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	4.4%	1.1%	91
桔梗小学校	15.2%	4.4%	77.9%	10.3%	4.9%	0.0%	1.0%	0.5%	1.0%	0.0%	2.5%	0.5%	204
広丘小学校	19.4%	6.3%	80.6%	9.0%	4.2%	0.7%	0.0%	0.7%	2.8%	1.4%	8.3%	0.7%	144
吉田小学校	19.4%	8.1%	74.2%	17.7%	7.3%	1.6%	2.4%	2.4%	2.4%	0.8%	4.8%	0.8%	124
片丘小学校	14.3%	3.6%	78.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	28
宗賀小学校	10.2%	3.4%	84.7%	10.2%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	3.4%	0.0%	59
洗馬小学校	8.3%	2.8%	83.3%	2.8%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	36
楢川小学校	15.4%	7.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	13
両小野小学校	0.0%	0.0%	90.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	20
市全体	15.0%	5.2%	80.4%	10.8%	3.8%	0.4%	1.2%	0.9%	1.6%	0.6%	4.6%	0.6%	806

【経済的ゆとり別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
ゆとりがない	8.3%	4.1%	88.2%	11.2%	4.1%	0.6%	3.6%	1.8%	0.6%	0.0%	5.3%	0.6%	169
どちらかといえばゆとりがない	15.9%	4.9%	81.0%	12.5%	3.7%	0.3%	0.6%	0.0%	1.5%	0.9%	4.6%	0.6%	327
どちらかといえばゆとりがある	17.6%	5.7%	76.3%	7.5%	3.6%	0.4%	0.7%	1.4%	2.5%	0.7%	3.9%	0.7%	279
ゆとりがある	19.4%	9.7%	67.7%	19.4%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	31
市全体	15.0%	5.2%	80.4%	10.8%	3.8%	0.4%	1.2%	0.9%	1.6%	0.6%	4.6%	0.6%	806

【保護者の職業別】

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型事業	認可外保育施設事業	ファミリー・サポート事業	その他	回答者数
農林業・水産業・鉱業	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	19
建設・土木	9.1%	4.5%	86.4%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	22
製造業	10.9%	4.7%	85.2%	7.0%	1.6%	0.8%	1.6%	1.6%	3.1%	0.8%	4.7%	0.8%	128
サービス業	7.6%	4.2%	85.8%	11.5%	4.9%	0.5%	1.5%	1.0%	1.2%	0.7%	4.4%	0.5%	408
特に仕事はしていない	41.9%	7.4%	58.8%	14.7%	5.1%	0.0%	0.7%	0.7%	2.2%	0.0%	5.1%	0.7%	136
その他	18.3%	8.6%	78.5%	8.6%	2.2%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	3.2%	1.1%	93
市全体	15.0%	5.2%	80.4%	10.8%	3.8%	0.4%	1.2%	0.9%	1.6%	0.6%	4.6%	0.6%	806

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 利用開始希望年齢は、認可保育所では「3 歳」が 31.0%で最も多いものの、未満児（0～2 歳）での開始希望も 49.7%と半数程度をしめている。認定こども園についても、未満児での利用開始希望は 31.0%となっている。
- ファミリー・サポート事業の利用予定者は多くはないが、63.9%が未満児からの利用希望となっている。

◆利用開始希望年齢

幼稚園

	度数（人）	割合(%)
0歳	3	2.5
1歳	3	2.5
2歳	9	7.4
3歳	94	77.7
4歳	5	4.1
5歳	6	5.0
6歳	1	0.8
合計	121	100.0

幼稚園の預かり保育

	度数（人）	割合(%)
0歳	1	2.4
1歳	2	4.8
2歳	4	9.5
3歳	25	59.5
4歳	4	9.5
5歳	6	14.3
合計	42	100.0

認可保育所

	度数（人）	割合(%)
0歳	62	9.6
1歳	152	23.5
2歳	108	16.7
3歳	201	31.0
4歳	58	9.0
5歳	50	7.7
6歳	17	2.6
合計	648	100.0

認定こども園

	度数（人）	割合(%)
0歳	5	5.7
1歳	12	13.8
2歳	10	11.5
3歳	40	46.0
4歳	11	12.6
5歳	7	8.0
6歳	2	2.3
合計	87	100.0

認可外保育施設

	度数（人）	割合(%)
0歳	1	8.3
1歳	4	33.3
2歳	1	8.3
3歳	4	33.3
4歳	2	16.7
合計	12	100.0

事業所内保育施設

	度数（人）	割合(%)
0歳	2	20.0
1歳	5	50.0
3歳	2	20.0
4歳	1	10.0
合計	10	100.0

小規模保育事業

	度数（人）	割合(%)
0歳	5	16.1
1歳	11	35.5
2歳	13	41.9
3歳	1	3.2
4歳	1	3.2
合計	31	100.0

家庭的保育事業

	度数（人）	割合(%)
0歳	1	33.3
1歳	2	66.7
合計	3	100.0

居宅訪問型保育事業

	度数（人）	割合(%)
0歳	3	75.0
1歳	1	25.0
合計	4	100.0

企業主導型保育事業

	度数（人）	割合(%)
0歳	1	14.3
1歳	2	28.6
2歳	2	28.6
3歳	1	14.3
4歳	1	14.3
合計	7	100.0

ファミリー・サポート事業

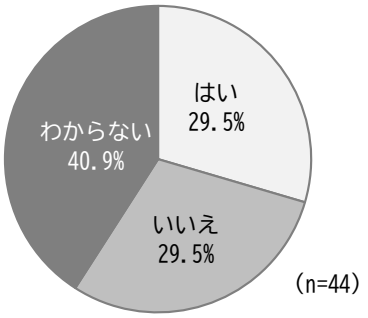
	度数（人）	割合(%)
0歳	14	38.9
1歳	5	13.9
2歳	4	11.1
3歳	7	19.4
4歳	3	8.3
5歳	2	5.6
6歳	1	2.8
合計	36	100.0

- 幼稚園と他施設の利用を希望する者のうち、幼稚園の利用を強く希望する人は 29.5%である。
- 3 歳未満の保育料が無償になった場合、利用開始時期を早めたい者は 49.2%と約半数を占めている。その際、希望するクラスは、「2 歳児クラス」が 43.4%と最も多く、次いで「1 歳児クラス」が 38.5%となっている。

＜回答対象者：幼稚園と他施設の利用を希望する者＞

⑥他施設より幼稚園・幼稚園預かり保育の利用を強く希望するか

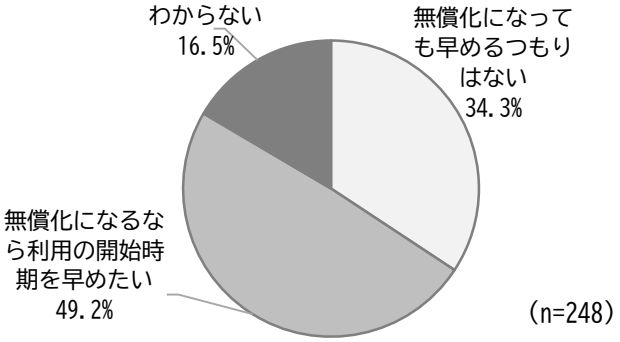
	度数（人）	割合（%）
はい	13	29.5
いいえ	13	29.5
わからない	18	40.9
合計	44	100.0



＜回答対象者：現在「ファミリー・サポート事業」または「幼稚園、保育園などの定期的な利用をしていない」者＞

⑦３歳未満の保育料が無償になったら利用開始時期を早めるか

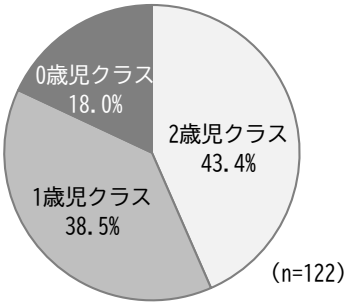
	度数（人）	割合（%）
無償化になっても早めるつもりはない	85	34.3
無償化になるなら利用の開始時期を早めたい	122	49.2
わからない	41	16.5
合計	248	100.0



＜回答対象者：３歳未満の保育料が無償になったら利用開始時期を早めたい者＞

⑧無償になった際、早めるとしたら何歳児クラスを希望するか

	度数（人）	割合（%）
2歳児クラス	53	43.4
1歳児クラス	47	38.5
0歳児クラス	22	18.0
合計	122	100.0

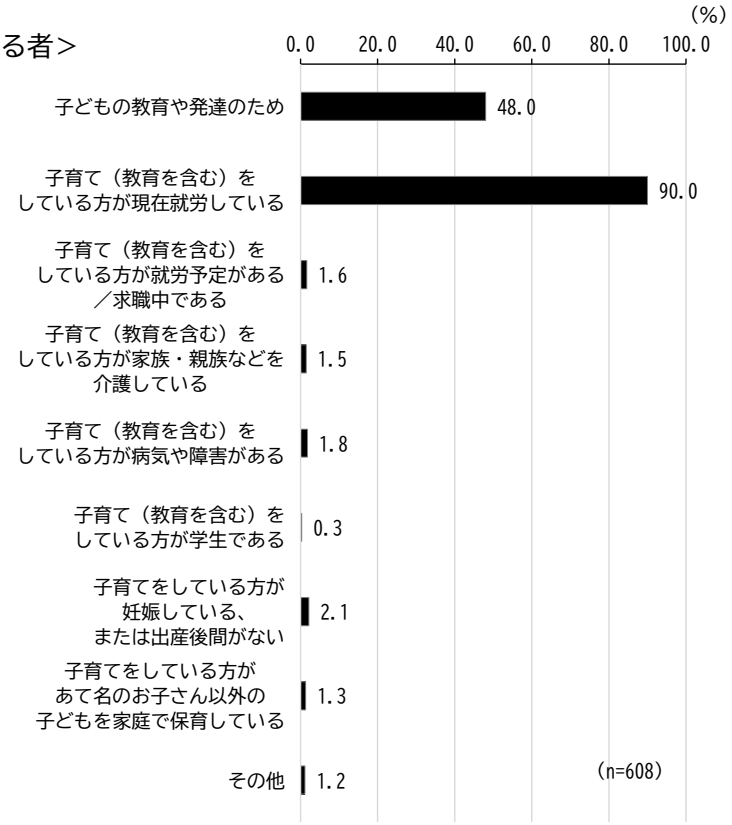


- 平日の定期的教育・保育事業の利用者における利用理由については、「子育てをしている方が就労している」が 90.0%と最も多く、次いで「子どもの教育・発達のため」となっている。
- 他方、利用していない人の理由については「利用する必要がない」が 59.1%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が多くなっている。
- 経済的ゆとり別にみると、「ゆとりがない」とする者において、「利用したいが保育・教育の事業に空きがない」や「利用したいが経済的な理由で事業を利用できない」とする者が一定数みられる。

＜回答対象者：定期的な教育・保育の事業を利用している者＞

⑨利用している理由（複数回答）

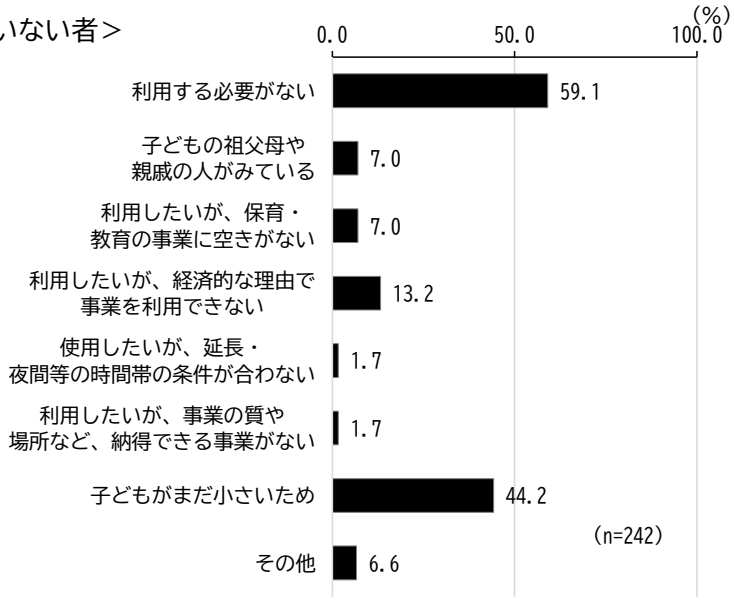
	度数（人）	割合（%）
子どもの教育や発達のため	292	48.0
子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	547	90.0
子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	10	1.6
子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	9	1.5
子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	11	1.8
子育て（教育を含む）をしている方が学生であ	2	0.3
子育てをしている方が妊娠している、または出産後間がない	13	2.1
子育てをしている方があて名のお子さん以外の子どもを家庭で保育している	8	1.3
その他	7	1.2
回答者数	608	



＜回答対象者：定期的な教育・保育の事業を利用していない者＞

⑩利用していない理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
利用する必要がない	143	59.1
子どもの祖父母や親戚の人がみている	17	7.0
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	17	7.0
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	32	13.2
使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	4	1.7
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	4	1.7
子どもがまだ小さいため	107	44.2
その他	16	6.6
回答者数	242	



＜クロス集計＞

【経済的ゆとり別】

	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	回答者数
ゆとりがない	43.5%	13.0%	13.0%	23.9%	0.0%	2.2%	37.0%	13.0%	177
どちらかといえばゆとりがない	57.8%	3.7%	7.3%	15.6%	2.8%	0.9%	53.2%	3.7%	341
どちらかといえばゆとりがある	68.9%	8.1%	4.1%	5.4%	0.0%	2.7%	39.2%	6.8%	298
ゆとりがある	69.2%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%	7.7%	34
市全体	59.1%	7.0%	7.0%	13.2%	1.7%	1.7%	44.2%	6.6%	850

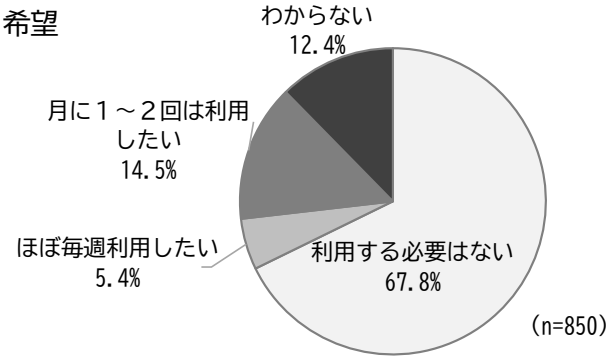
※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

- 土曜日に定期的な教育･保育事業の利用希望がある人は 19.9%となっている。前回調査との変化は特にみられない。
- 時間帯ごとに土曜日の利用希望をみると、開始時間は「～8 時」が 53.3%、「～9 時」が 42.0%でほとんどが 9 時までには開始の希望がみられる。終了時間は「～17 時」が 38.5%と最も多く、次いで、「～18 時」が 26.6%となっている。

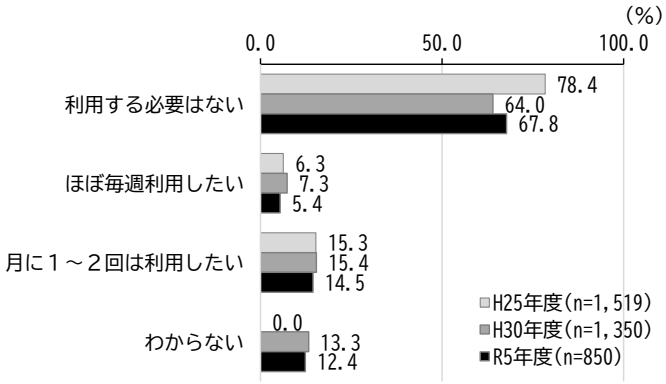
2） 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

①土曜日

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	576	67.8
ほぼ毎週利用したい	46	5.4
月に１～２回は利用したい	123	14.5
わからない	105	12.4
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	3	1.8
～8時	90	53.3
～9時	71	42.0
～10時	4	2.4
10時より後	1	0.6
合計	169	100.0

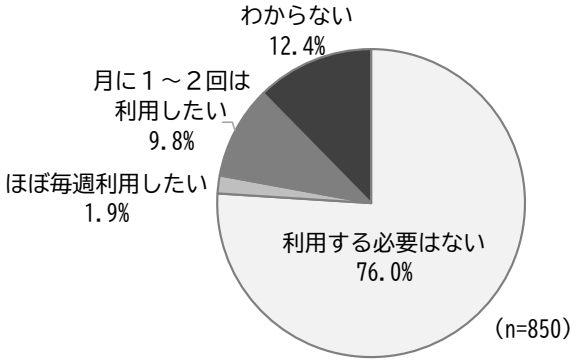
▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	2	1.2
～13時	3	1.8
～14時	5	3.0
～15時	15	8.9
～16時	25	14.8
～17時	65	38.5
～18時	45	26.6
～19時	8	4.7
19時より後	1	0.6
合計	169	100.0

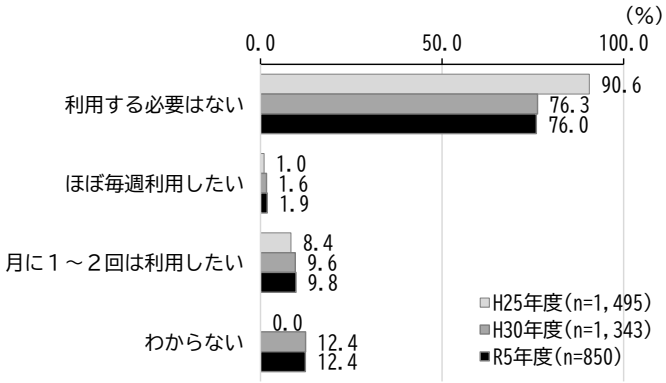
- 日曜日・祝日に定期的な教育･保育事業の利用希望がある人は 11.7%となっている。前回調査との変化は特にみられない。
- 時間帯ごとに日曜日・祝日の利用希望をみると、開始時間は「～8 時」が 51.5%、「～9 時」が 39.4%でほとんどが 9 時までには開始の希望がみられる。終了時間は「～17 時」が 37.4%と最も多く、次いで、「～18 時」が 27.3%となっている。

②日曜日・祝日

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	646	76.0
ほぼ毎週利用したい	16	1.9
月に１～２回は利用したい	83	9.8
わからない	105	12.4
合計	850	100.0



＜過年度との比較＞



△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	5	5.1
～8時	51	51.5
～9時	39	39.4
～10時	2	2.0
10時より後	2	2.0
合計	99	100.0

▽終了時間

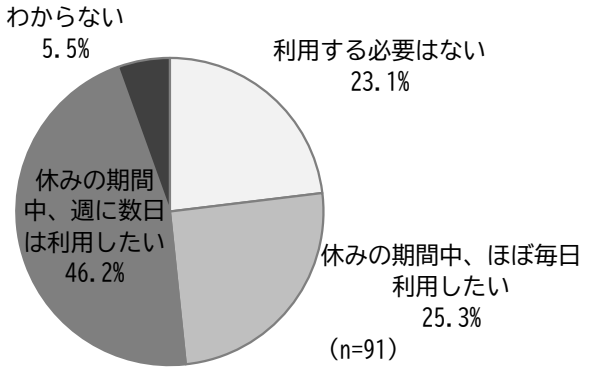
	度数（人）	割合(%)
～12時	1	1.0
～13時	2	2.0
～14時	4	4.0
～15時	4	4.0
～16時	15	15.2
～17時	37	37.4
～18時	27	27.3
～19時	9	9.1
19時より後	0	0.0
合計	99	100.0

- 長期休暇期間中の教育･保育事業の利用希望がある人は 71.5%、利用する必要はない人が 23.1%となっている。前回調査より「利用する必要はない」が 22.0 ポイント減少し、「利用したい」が 34.5 ポイント増加している。
- 時間帯ごとに日曜日・祝日の利用希望をみると、開始時間は「～8 時」が 41.5%、「～9 時」が 55.4%でほとんどが 9 時までには開始の希望がみられる。終了時間は「～16 時」が 27.7%と最も多く、次いで、「～15 時」が 23.1%となっている。

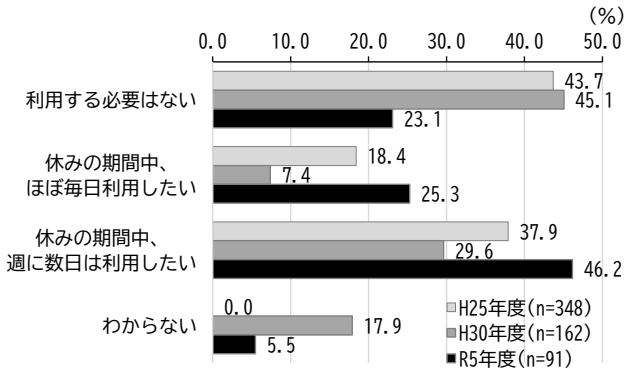
＜回答対象者：幼稚園（「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園)」）を利用している者＞

③長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	21	23.1
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	23	25.3
休みの期間中、週に数日は利用したい	42	46.2
わからない	5	5.5
合計	91	100.0



＜過年度との比較＞



△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	0	0.0
～8時	27	41.5
～9時	36	55.4
～10時	2	3.1
10時より後	0	0.0
合計	65	100.0

▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	0	0.0
～13時	1	1.5
～14時	5	7.7
～15時	15	23.1
～16時	18	27.7
～17時	12	18.5
～18時	12	18.5
～19時	2	3.1
19時より後	0	0.0
合計	65	100.0

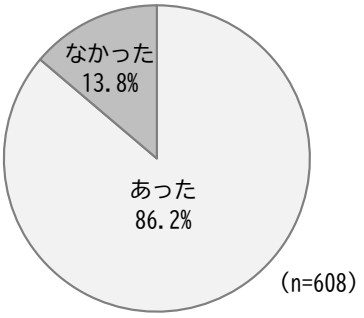
（3）病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

- この１年間で子どもが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことがあったという家庭は86.2%である。
- その際の対処方法としては、「母親が休んだ」が 90.5%と最も多く、次いで「父親が休んだ」「親戚･同居人・知人に子どもをみてもらった」となっている。
- 対処方法別の年間日数を平均でみると、「父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた」が「母親が休んだ」よりも最も多く 14.4 日となっている。なお、その他としては「在宅ワークのため、自宅で仕事をしながら看病した」「夜勤のため日中、家で看病していた」との内容で、平均 17.6 日となっている。

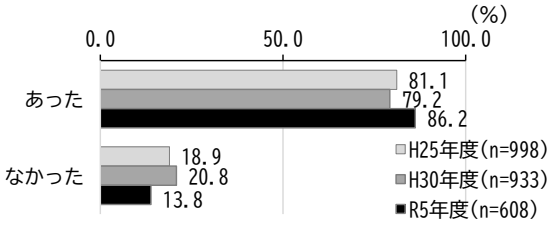
＜回答対象者：平日に定期的な教育・保育の事業を利用している者＞

1）　この１年間､病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

	度数（人）	割合（%）
あった	524	86.2
なかった	84	13.8
合計	608	100.0



＜過年度との比較＞

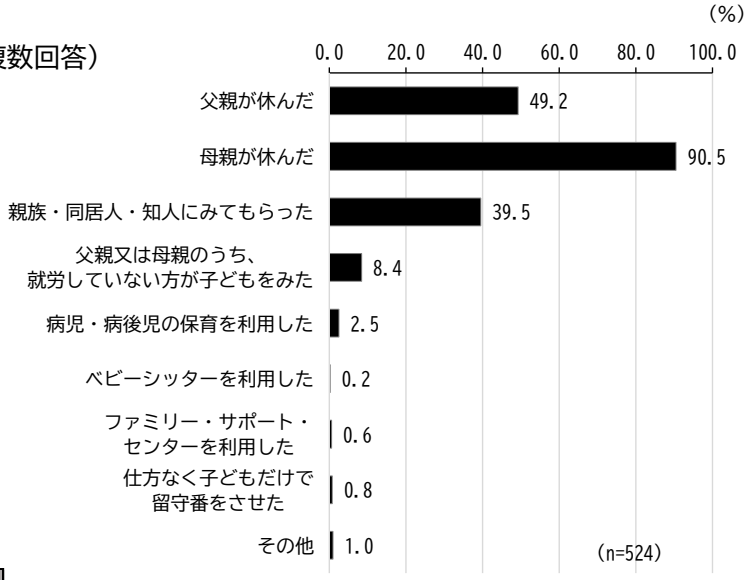


＜回答対象者：平日に定期的な教育・保育の事業を利用している者＞のうち、

＜この１年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがある者＞

2）　通常の事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
父親が休んだ	258	49.2
母親が休んだ	474	90.5
親族・同居人・知人にみてもらった	207	39.5
父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	44	8.4
病児・病後児の保育を利用した	13	2.5
ベビーシッターを利用した	1	0.2
ファミリー・サポート・センターを利用した	3	0.6
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	0.8
その他	5	1.0
回答者数	524	



【対処方法別の日数】

◆平均の年間日数

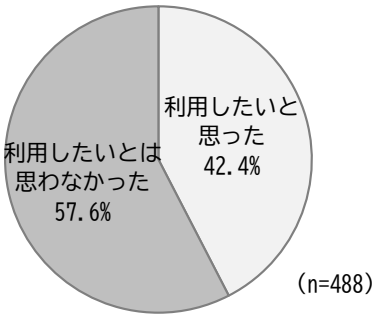
	年間日数
父親が休んだ	5.0
母親が休んだ	12.4
親族・同居人・知人にみてもらった	9.1
父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	14.4
病児・病後児の保育を利用した	3.6
ベビーシッターを利用した	10.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	3.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3.5
その他	17.6

- 両親のいずれかが対応した人の病児のサービス利用の希望をみると、利用したいと思った人は 42.4%で、「利用したいとは思わなかった」人は 57.6%となっている。前回調査から「利用したいと思った」の割合が 23.3 ポイント増加している。
- 利用希望者の利用したい日数は「～10 日」「10 日より多い」を合わせて 56.1%と半数以上を占めている。平均年間日数は 12.0 日で、1 ヶ月に 1 回以上の頻度での利用希望がある。
- 一方、利用したいと思わなかった理由としては、「病気の時に他人にみてもらうのは不安」が 45.2%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」「手続きや手配がめんどう」「子どもが嫌がる、不安がる」が多くなっている。

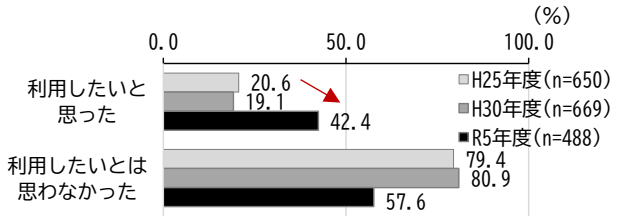
＜回答対象者：定期的に事業を利用し、この 1 年間に事業の利用ができないことがあり、その際、両親いずれかが対応した者＞

3)　病児のサービスの利用希望

	度数（人）	割合（%）
利用したいと思った	207	42.4
利用したいとは思わなかった	281	57.6
合計	488	100.0



＜過年度との比較＞



＜回答対象者：病児サービスを「利用したいと思った」と回答した者＞

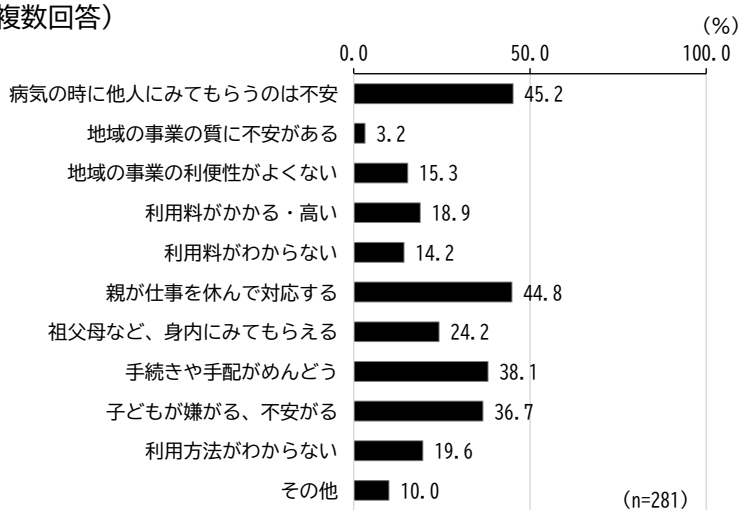
4)　利用希望日数（年間）

	度数（人）	割合(%)
～1日	1	0.5
～2日	10	4.8
～3日	16	7.7
～4日	1	0.5
～5日	57	27.5
～6日	1	0.5
～7日	5	2.4
～10日	62	30.0
10日より多い	54	26.1
合計	207	100.0

＜回答対象者：病児サービスを「利用したいと思わなかった」と回答した者＞

5)　病児サービスを利用したいと思わなかった理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
病気の時に他人にみてもらうのは不安	127	45.2
地域の事業の質に不安がある	9	3.2
地域の事業の利便性がよくない	43	15.3
利用料がかかる・高い	53	18.9
利用料がわからない	40	14.2
親が仕事を休んで対応する	126	44.8
祖父母など、身内にみてもらえる	68	24.2
手続きや手配がめんどう	107	38.1
子どもが嫌がる、不安がる	103	36.7
利用方法がわからない	55	19.6
その他	28	10.0
回答者数	281	

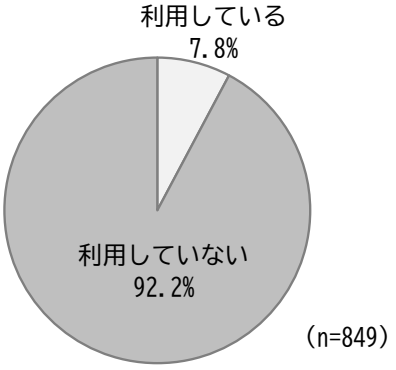


（4）不定期の保育サービスの利用について

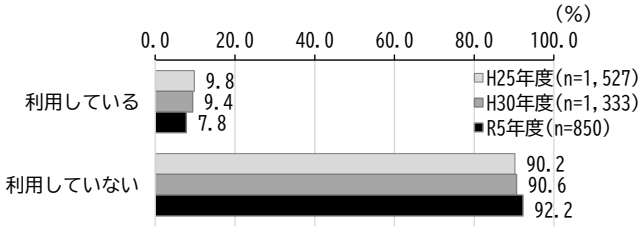
- この一年で、私用、家族の病気、不定期の就労等の目的による保育サービスを利用している人は 7.8%である。前回調査と比較し、やや微減している。
- 利用している事業は「一時的保育」が 87.9%で最も多い。
- 利用事業一年間の日数平均をみると、「幼稚園の預かり保育」が平均 18.0 日で最も多い。
- 利用していない人の理由としては「特に利用する必要がない」という回答が 74.6%と多くなっている。

1） この一年間で私用、家族の病気、不定期の就労等の目的で不定期に利用した事業の有無

	度数（人）	割合（%）
利用している	66	7.8
利用していない	783	92.2
合計	849	100.0



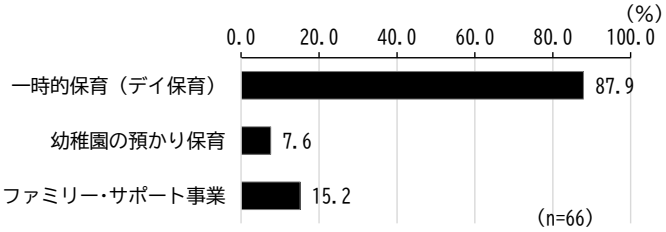
＜過年度との比較＞



＜回答対象者：この一年間で、私用等の目的で不定期に利用した事業のある者＞

2） 利用している事業（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
一時的保育（デイ保育）	58	87.9
幼稚園の預かり保育	5	7.6
ファミリー・サポート事業	10	15.2
回答者数	66	



【事業別の利用日数】

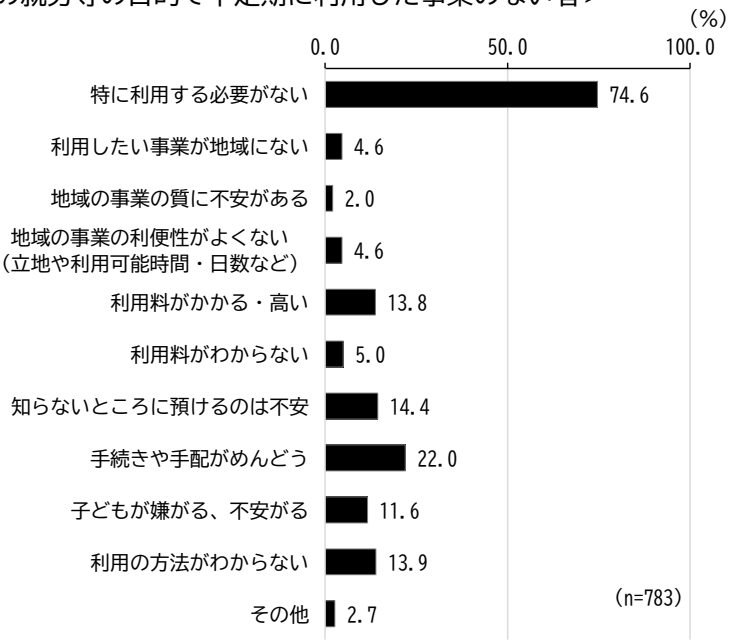
◆平均の年間日数

	年間日数
一時的保育（デイ保育）	15.4
幼稚園の預かり保育	18.0
ファミリー・サポート事業	1.8

＜回答対象者：この一年間で、私用、家族の病気、不定期の就労等の目的で不定期に利用した事業のない者＞

3） 利用していない理由（複数回答）

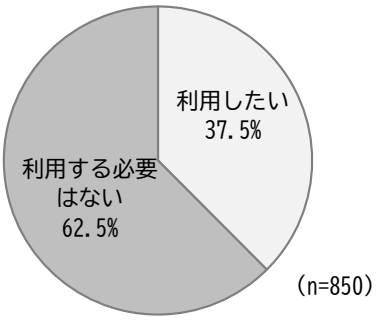
	度数（人）	割合（%）
特に利用する必要がない	584	74.6
利用したい事業が地域にない	36	4.6
地域の事業の質に不安がある	16	2.0
地域の事業の利便性がよくない（立地や利用可能時間・日数など）	36	4.6
利用料がかかる・高い	108	13.8
利用料がわからない	39	5.0
知らないところに預けるのは不安	113	14.4
手続きや手配がめんどう	172	22.0
子どもが嫌がる、不安がる	91	11.6
利用の方法がわからない	109	13.9
その他	21	2.7
回答者数	783	



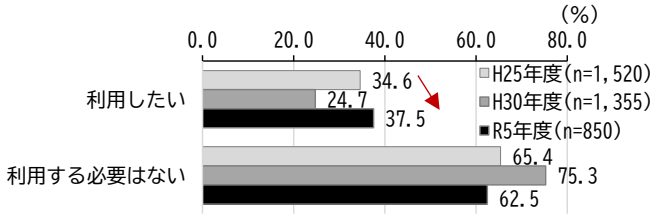
- 今後、私用、家族の病気、不定期の就労等のために、一時的保育等の事業を不定期に利用する予定がある人は 37.5%であり、前回調査と比べ、「利用したい」の割合が 12.8 ポイント増加している。
- 利用予定者の利用目的は、「私用や親のリフレッシュ」が 58.6%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、行事等」「不定期の就労」となっている。
- 利用希望の年間日数の平均は、不定期の就労が 30.0 日で最も多いほか、その他（自分や家族が病気の時、妊娠・出産時など）が 18.6 日で次に多くなっている。
- 今後利用を予定している事業は、「一時的保育（デイ保育）」が 72.1%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート事業」となっている。

4)　今後、私用、家族の病気、不定期の就労等の目的での不定期の事業の利用希望

	度数（人）	割合（%）
利用したい	319	37.5
利用する必要はない	531	62.5
合計	850	100.0



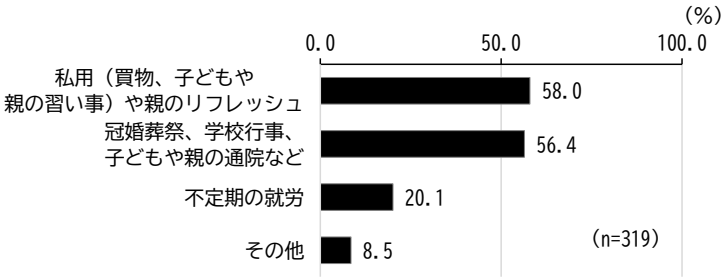
＜過年度との比較＞



＜回答対象者：私用、家族の病気、不定期の就労等の目的で不定期の事業を利用する予定のある者＞

5)　不定期事業の利用目的（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
私用（買物、子どもや親の習い事）や親のリフレッシュ	185	58.0
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	180	56.4
不定期の就労	64	20.1
その他	27	8.5
回答者数	319	



【目的別の利用希望日数】

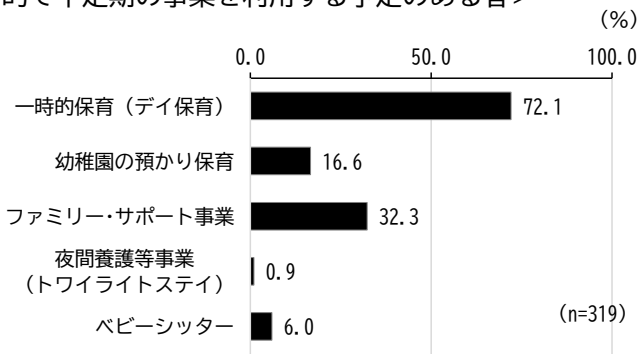
◆平均の年間日数

	年間日数
私用（買物、子どもや親の習い事）や親のリフレッシュ	11.7
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	9.5
不定期の就労	30.0
その他	18.6

＜回答対象者：今後、私用、家族の病気、不定期の就労等の目的で不定期の事業を利用する予定のある者＞

6)　今後利用を予定している事業（複数回答）

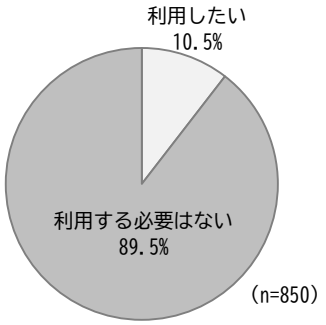
	度数（人）	割合（%）
一時的保育（デイ保育）	230	72.1
幼稚園の預かり保育	53	16.6
ファミリー・サポート事業	103	32.3
夜間養護等事業（トワイライトステイ）	3	0.9
ベビーシッター	19	6.0
回答者数	319	



- 今後のショートステイの利用希望では、10.5%が利用したいとしており、利用する際の用事としては、「保護者の育児疲れ・不安」が 67.4%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」となっている。
- 利用希望の年間泊数の平均は、「保護者や家族の病気」が 5.8 日で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 4.8 日となっている。

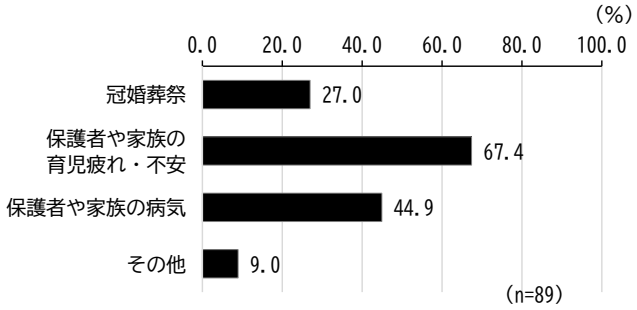
7） 今後、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）の目的での子育て支援ショートステイ事業の利用希望

	度数（人）	割合（%）
利用したい	89	10.5
利用する必要はない	761	89.5
合計	850	100.0



8） 子育て支援ショートステイ事業を「利用したい」を予定している用事としてあてはまるもの（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
冠婚葬祭	24	27.0
保護者や家族の育児疲れ・不安	60	67.4
保護者や家族の病気	40	44.9
その他	8	9.0
回答者数	89	



【目的別の利用希望泊数】

◆平均の年間泊数

	年間泊数
冠婚葬祭	4.0
保護者や家族の育児疲れ・不安	4.8
保護者や家族の病気	5.8
その他	3.5

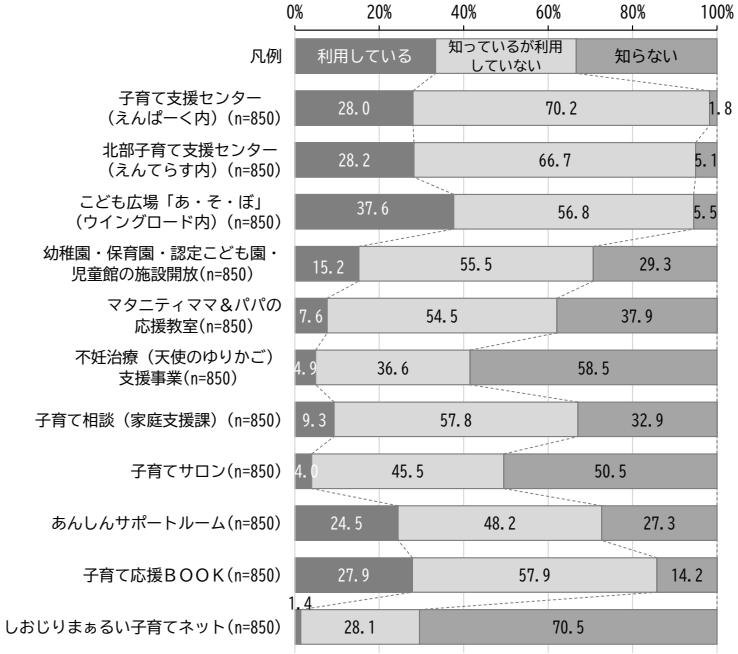
（5）地域の子ども・子育て支援事業について

- 地域子育て支援事業の現在の利用状況では、「こども広場『あ・そ・ぼ』」の利用者が 37.6%で最も多い。子育て支援センターや北部子育て支援センターは「知っているが利用していない」という人が多い。「不妊治療（天使のゆりかご）支援事業」や「しおじりまぁるい子育てネット」「子育てサロン」については、「知らない」人が半数以上となっている。
- 今後の利用予定をみると、「利用する予定」は「こども広場」が最も高い。その他の事業は「利用予定なし」や「わからない」の回答が多くみられる。
- 月間平均日数は現在の利用、今後の利用予定ともに「幼稚園・保育園・認定こども園・児童館の施設開放」が最も多い。

1） 地域の子育て支援施設や事業の利用状況・今後の利用予定

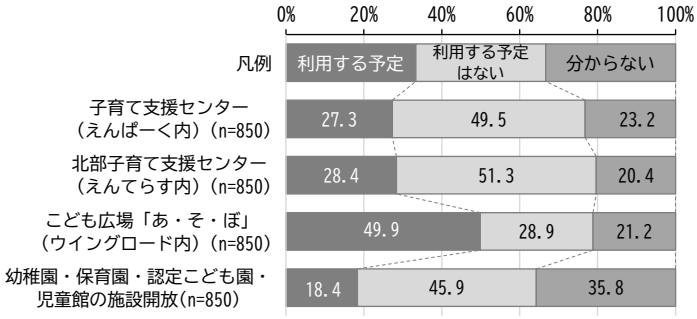
①事業別の現在の利用状況

		度数（人）	割合（%）
子育て支援センター（えんぱーく内）(n=850)	利用している	238	28.0
	知っているが利用していない	597	70.2
	知らない	15	1.8
北部子育て支援センター（えんてらす内）(n=850)	利用している	240	28.2
	知っているが利用していない	567	66.7
	知らない	43	5.1
こども広場「あ・そ・ぼ」（ウイングロード内）(n=850)	利用している	320	37.6
	知っているが利用していない	483	56.8
	知らない	47	5.5
幼稚園・保育園・認定こども園・児童館の施設開放(n=850)	利用している	129	15.2
	知っているが利用していない	472	55.5
	知らない	249	29.3
マタニティママ＆パパの応援教室(n=850)	利用している	65	7.6
	知っているが利用していない	463	54.5
	知らない	322	37.9
不妊治療（天使のゆりかご）支援事業(n=850)	利用している	42	4.9
	知っているが利用していない	311	36.6
	知らない	497	58.5
子育て相談（家庭支援課）(n=850)	利用している	79	9.3
	知っているが利用していない	491	57.8
	知らない	280	32.9
子育てサロン(n=850)	利用している	34	4.0
	知っているが利用していない	387	45.5
	知らない	429	50.5
あんしんサポートルーム(n=850)	利用している	208	24.5
	知っているが利用していない	410	48.2
	知らない	232	27.3
子育て応援ＢＯＯＫ(n=850)	利用している	237	27.9
	知っているが利用していない	492	57.9
	知らない	121	14.2
しおじりまぁるい子育てネット(n=850)	利用している	12	1.4
	知っているが利用していない	239	28.1
	知らない	599	70.5



②今後利用予定の事業

		度数（人）	割合（%）
子育て支援センター（えんぱーく内）(n=850)	利用する予定	232	27.3
	利用する予定はない	421	49.5
	分からない	197	23.2
北部子育て支援センター（えんてらす内）(n=850)	利用する予定	241	28.4
	利用する予定はない	436	51.3
	分からない	173	20.4
こども広場「あ・そ・ぼ」（ウイングロード内）(n=850)	利用する予定	424	49.9
	利用する予定はない	246	28.9
	分からない	180	21.2
幼稚園・保育園・認定こども園・児童館の施設開放(n=850)	利用する予定	156	18.4
	利用する予定はない	390	45.9
	分からない	304	35.8



③現在利用している事業の平均月間利用日数

	月間日数
子育て支援センター（えんぱーく内）	2.8
北部子育て支援センター（えんてらす内）	3.0
こども広場「あ・そ・ぼ」（ウイングロード内）	2.4
幼稚園・保育園・認定こども園・児童館の施設開放	12.0

④今後利用したい事業の月間利用日数の予定

	月間日数
子育て支援センター（えんぱーく内）	3.3
北部子育て支援センター（えんてらす内）	3.5
こども広場「あ・そ・ぼ」（ウイングロード内）	2.6
幼稚園・保育園・認定こども園・児童館の施設開放	9.7

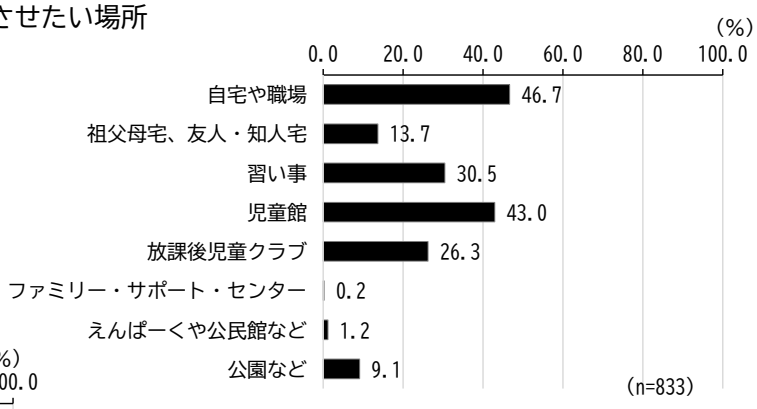
（6）小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 小学校低学年での放課後の過ごさせ方としては、「自宅」と回答した人が 46.7%で最も多く、次いで「児童館」が 43.0%となっている。過年度と比べ、「児童館」の希望が増えている。
- 週あたりの希望平均日数は、「児童館」が 4.0 日と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が 3.8 日となっている。

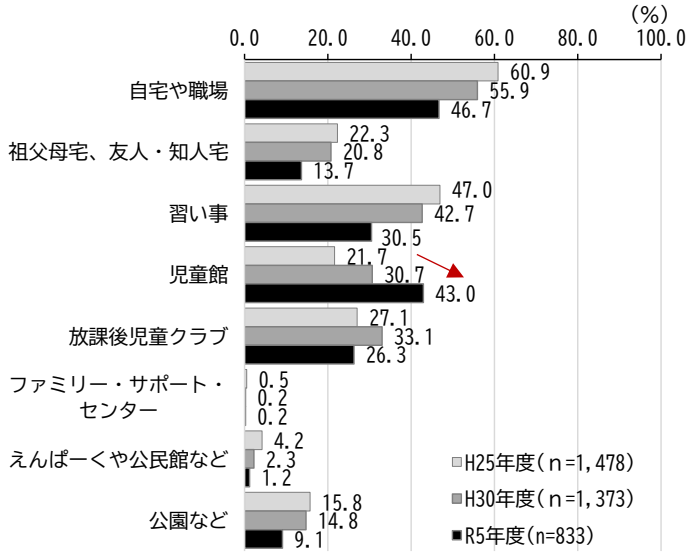
1） 小学校就学後に希望する平日の放課後の過ごし方（複数回答）【小学校低学年（１～３年生）時】

①小学校低学年（１～３年生）時の平日放課後の過ごさせたい場所

	度数（人）	割合（%）
自宅や職場	389	46.7
祖父母宅、友人・知人宅	114	13.7
習い事	254	30.5
児童館	358	43.0
放課後児童クラブ	219	26.3
ファミリー・サポート・センター	2	0.2
えんぱーくや公民館など	10	1.2
公園など	76	9.1
回答者数	833	



＜過年度との比較＞



【低学年で過ごさせたい場所別の希望日数】（週あたり）

②平均の週あたり日数

	週間日数
自宅や職場	3.2
祖父母宅、友人・知人宅	2.5
習い事	1.5
児童館	4.0
放課後児童クラブ	3.8
ファミリー・サポート・センター	2.0
えんぱーくや公民館など	1.3
公園など	2.0

- 学齢別や、地区別にみると、小学校低学年のうちに過ごさせたい場所は、各学齢、地区別で希望する場所にばらつきがみられる。「児童館」と「放課後児童クラブ」に着目すると、「児童館」では、学齢の「2～3 歳児」「年長」で多く、地区別では「片丘小学校」「宗賀小学校」で多くみられる。「放課後児童クラブ」では、学齢の「0 歳児」から「1～2 歳児」、地区別では「塩尻西小学校」「楢川小学校」「両小野小学校」で多い。
- 「児童館」の利用希望時間は下校時から「午後 5 時まで」が 43.6%、「午後 6 時まで」は 56.4%となっている。「放課後児童クラブ」については「午後 6 時まで」が 47.0%と約半数を占めている。なお、「午後 7 時まで」の利用希望も 21.0%みられる。

＜クロス集計＞

【学齢別】

	自宅や職場	祖父母宅、友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	えんぱーくや公民館など	公園など	回答者数
0歳児	57.9%	18.4%	30.3%	28.9%	34.2%	0.0%	5.3%	10.5%	76
0-1歳児	48.8%	14.6%	40.7%	32.5%	32.5%	0.0%	0.8%	14.6%	123
1-2歳児	47.4%	15.8%	29.3%	39.8%	31.6%	0.0%	0.8%	9.0%	133
2-3歳児	44.9%	15.3%	33.1%	53.4%	22.9%	0.8%	0.8%	8.5%	118
年少	47.8%	14.2%	29.9%	44.8%	20.1%	0.7%	1.5%	7.5%	134
年中	43.6%	9.0%	23.3%	45.9%	29.3%	0.0%	0.8%	6.0%	133
年長	42.1%	10.3%	28.0%	50.5%	14.0%	0.0%	0.0%	9.3%	107
市全体	46.7%	13.7%	30.5%	43.0%	26.3%	0.2%	1.2%	9.0%	833

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

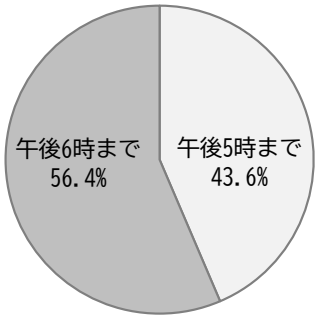
【地区別】

	自宅や職場	祖父母宅、友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	えんぱーくや公民館など	公園など	回答者数
塩尻東小学校	47.8%	22.8%	20.7%	38.0%	27.2%	1.1%	0.0%	2.2%	92
塩尻西小学校	45.9%	16.3%	31.6%	44.9%	32.7%	1.0%	2.0%	6.1%	98
桔梗小学校	42.2%	13.7%	33.2%	47.4%	26.1%	0.0%	2.4%	10.4%	211
広丘小学校	55.1%	9.5%	34.0%	41.5%	22.4%	0.0%	1.4%	15.0%	147
吉田小学校	51.2%	11.2%	30.4%	35.2%	26.4%	0.0%	0.0%	12.8%	125
片丘小学校	17.2%	13.8%	27.6%	65.5%	20.7%	0.0%	0.0%	0.0%	29
宗賀小学校	38.6%	14.0%	35.1%	49.1%	22.8%	0.0%	1.8%	5.3%	57
洗馬小学校	48.8%	4.9%	22.0%	46.3%	22.0%	0.0%	0.0%	9.8%	41
楢川小学校	76.9%	7.7%	38.5%	23.1%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	13
両小野小学校	45.0%	25.0%	20.0%	25.0%	35.0%	0.0%	0.0%	5.0%	20
市全体	46.7%	13.7%	30.5%	43.0%	26.3%	0.2%	1.2%	9.0%	833

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

③児童館の利用希望時間

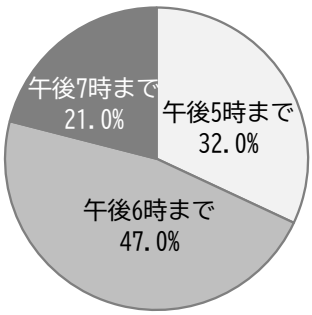
	度数（人）	割合（%）
午後5時まで	156	43.6
午後6時まで	202	56.4
合計	358	100.0



（n=358）

④放課後児童クラブの利用希望時間

	度数（人）	割合（%）
午後5時まで	70	32.0
午後6時まで	103	47.0
午後7時まで	46	21.0
合計	219	100.0



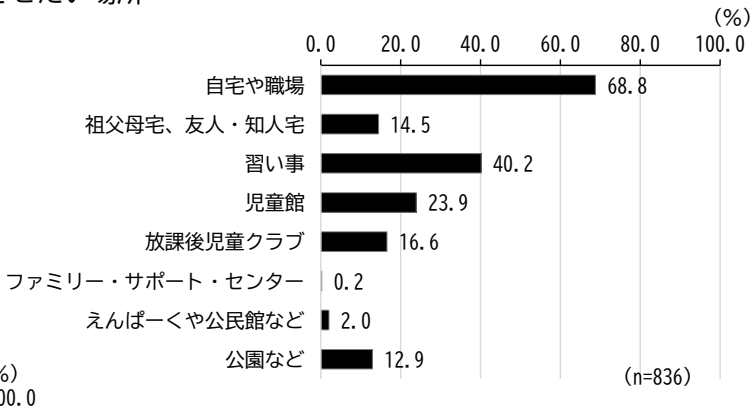
（n=219）

- 小学校高学年での放課後の過ごさせ方は、「自宅」と回答した人が 68.8%で低学年時よりも増えている。次いで「習い事」も 40.2%で低学年時よりも増えている。
- 週あたりの希望平均日数は、「放課後児童クラブ」と「自宅や職場」が 3.5 日で最も多く、次いで「児童館」が 3.4 日となっている。

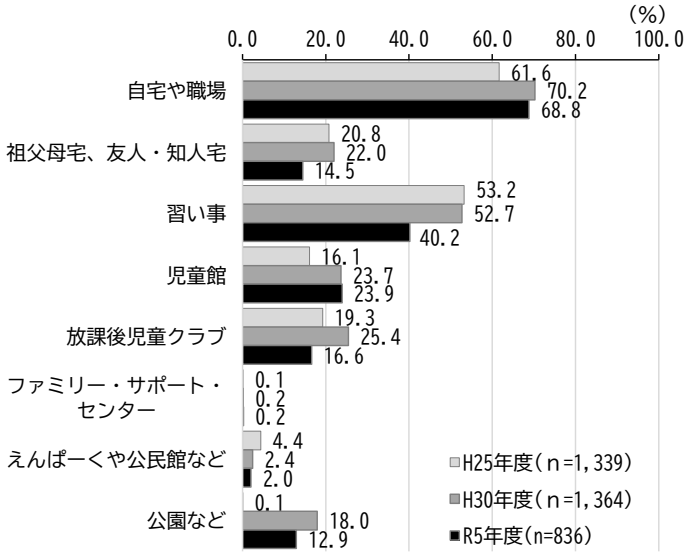
2)　小学校就学後に希望する平日の放課後の過ごし方（複数回答）【小学校高学年（４～６年生）時】

①小学校高学年（４～６年生）時の平日放課後の過ごさせたい場所

	度数（人）	割合（%）
自宅や職場	575	68.8
祖父母宅、友人・知人宅	121	14.5
習い事	336	40.2
児童館	200	23.9
放課後児童クラブ	139	16.6
ファミリー・サポート・センター	2	0.2
えんぱーくや公民館など	17	2.0
公園など	108	12.9
回答者数	836	



＜過年度との比較＞



【高学年で過ごさせたい場所別の希望日数】（週あたり）

②平均の週あたり日数

	週間日数
自宅や職場	3.5
祖父母宅、友人・知人宅	2.7
習い事	1.7
児童館	3.4
放課後児童クラブ	3.5
ファミリー・サポート・センター	2.0
えんぱーくや公民館など	1.3
公園など	2.1

- 学齢別や、地区別にみると、小学校高学年のうちに過ごさせたい場所は、各学齢、地区別で希望する場所にばらつきがみられる。「児童館」と「放課後児童クラブ」に着目すると、「児童館」では、学齢の「年少」で多く、地区別では「塩尻西小学校」で多くみられる。「放課後児童クラブ」では、地区別で「塩尻西小学校」「楢川小学校」「両小野小学校」で多い。
- 「児童館」の利用希望時間は下校時から「午後 5 時まで」が 33.5%、「午後 6 時まで」は 66.5%となっている。「放課後児童クラブ」については「午後 6 時まで」が 54.0%と半数以上を占めており、「午後 7 時まで」の利用希望は 24.5%みられる。

＜クロス集計＞

【学齢別】

	自宅や職場	祖父母宅、友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	えんぱーくや公民館など	公園など	回答者数
0歳児	75.0%	18.4%	38.2%	15.8%	18.4%	0.0%	5.3%	15.8%	76
0-1歳児	69.9%	17.1%	49.6%	21.1%	17.9%	0.0%	0.8%	17.9%	123
1-2歳児	67.4%	14.4%	44.7%	19.7%	18.9%	0.0%	0.8%	14.4%	132
2-3歳児	68.6%	18.6%	41.5%	25.4%	18.6%	1.7%	2.5%	11.0%	118
年少	66.7%	16.3%	37.8%	29.6%	14.1%	0.0%	2.2%	10.4%	135
年中	68.5%	8.5%	35.4%	26.2%	19.2%	0.0%	1.5%	10.8%	130
年長	69.9%	10.6%	33.6%	24.8%	8.8%	0.0%	2.7%	11.5%	113
市全体	68.8%	14.5%	40.2%	23.9%	16.6%	0.2%	2.0%	12.9%	836

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

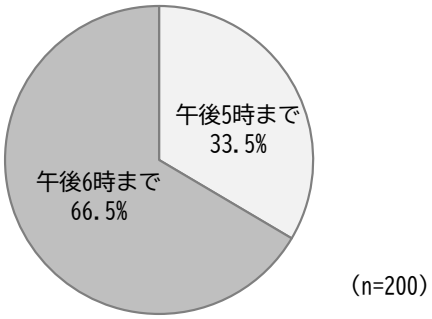
【地区別】

	自宅や職場	祖父母宅、友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	えんぱーくや公民館など	公園など	回答者数
塩尻東小学校	71.4%	19.8%	31.9%	20.9%	14.3%	0.0%	1.1%	6.6%	91
塩尻西小学校	61.2%	16.3%	41.8%	30.6%	22.4%	1.0%	4.1%	13.3%	98
桔梗小学校	69.3%	13.7%	44.3%	23.1%	17.9%	0.5%	1.4%	11.8%	212
広丘小学校	67.3%	13.3%	46.7%	28.7%	17.3%	0.0%	2.7%	15.3%	150
吉田小学校	74.8%	8.9%	41.5%	19.5%	11.4%	0.0%	1.6%	20.3%	123
片丘小学校	71.0%	25.8%	22.6%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	31
宗賀小学校	67.9%	14.3%	39.3%	19.6%	19.6%	0.0%	1.8%	8.9%	56
洗馬小学校	64.3%	11.9%	26.2%	28.6%	11.9%	0.0%	2.4%	14.3%	42
楢川小学校	76.9%	7.7%	46.2%	7.7%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%	13
両小野小学校	65.0%	25.0%	25.0%	15.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20
市全体	68.8%	14.5%	40.2%	23.9%	16.6%	0.2%	2.0%	12.9%	836

※赤色のセルは、市全体の割合よりも 5 ポイント以上高い数値。

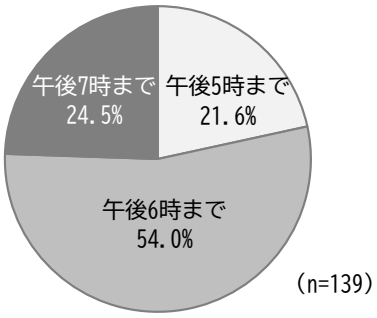
③児童館の利用希望時間

	度数（人）	割合（%）
午後5時まで	67	33.5
午後6時まで	133	66.5
合計	200	100.0



④放課後児童クラブの利用希望時間

	度数（人）	割合（%）
午後5時まで	30	21.6
午後6時まで	75	54.0
午後7時まで	34	24.5
合計	139	100.0

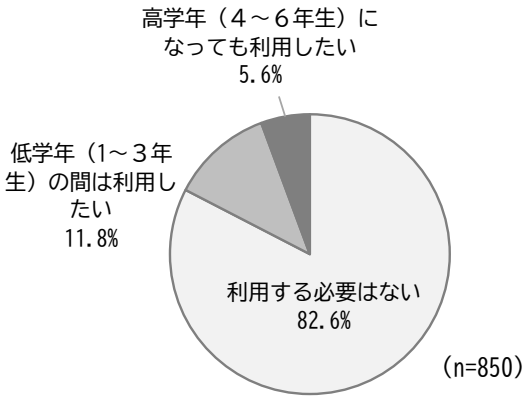


- 平日以外の「放課後児童クラブ」の利用については、土曜日、日曜日・祝日とも「利用する必要はない」が80%以上で多くを占めている。長期休業時は「低学年の間は利用したい」が 40.6%、高学年までの利用希望も 32.2%となっている。
- 利用希望の時間帯は土曜日、日曜日・祝日、長期休業時とも「～8 時」の開始希望が最も多く、終了時間については、「～17 時」の希望が最も多く、次いで「～18 時」が多くなっている。

3)　平日以外の放課後児童クラブの利用について

①土曜日

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	702	82.6
低学年（1～３年生）の間は利用したい	100	11.8
高学年（４～６年生）になっても利用したい	48	5.6
合計	850	100.0



△開始時間

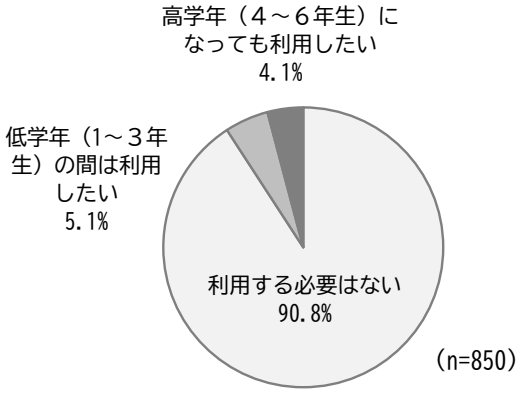
	度数（人）	割合(%)
～7時	6	4.1
～8時	91	61.5
～9時	42	28.4
～10時	2	1.4
10時より後	7	4.7
合計	148	100.0

▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	2	1.4
～13時	3	2.0
～14時	2	1.4
～15時	7	4.7
～16時	12	8.1
～17時	56	37.8
～18時	49	33.1
～19時	16	10.8
19時より後	1	0.7
合計	148	100.0

②日曜日・祝日

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	772	90.8
低学年（1～３年生）の間は利用したい	43	5.1
高学年（４～６年生）になっても利用したい	35	4.1
合計	850	100.0



△開始時間

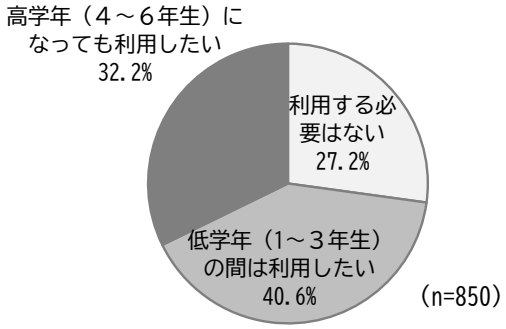
	度数（人）	割合(%)
～7時	6	7.7
～8時	47	60.3
～9時	24	30.8
～10時	0	0.0
10時より後	1	1.3
合計	78	100.0

▽終了時間

	度数（人）	割合(%)
～12時	2	2.6
～13時	0	0.0
～14時	1	1.3
～15時	3	3.8
～16時	7	9.0
～17時	34	43.6
～18時	24	30.8
～19時	7	9.0
19時より後	0	0.0
合計	78	100.0

③長期休業時（夏休み・冬休み等）

	度数（人）	割合（%）
利用する必要はない	231	27.2
低学年（1～３年生）の間は利用したい	345	40.6
高学年（４～６年生）になっても利用したい	274	32.2
合計	850	100.0



△開始時間

	度数（人）	割合(%)
～7時	14	2.3
～8時	426	68.8
～9時	166	26.8
～10時	7	1.1
10時より後	6	1.0
合計	619	100.0

▽終了時間

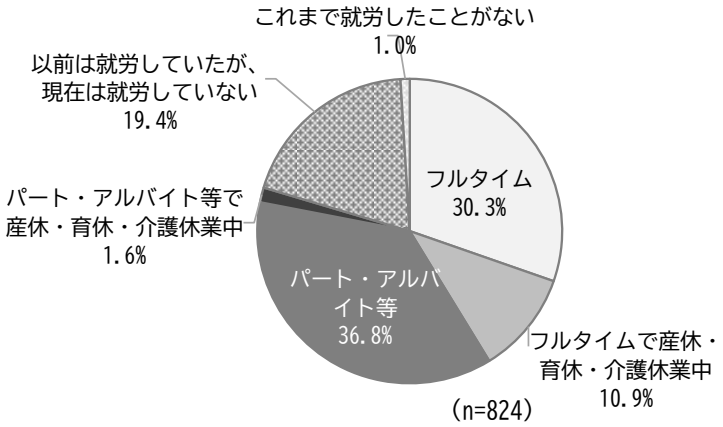
	度数（人）	割合(%)
～12時	3	0.5
～13時	1	0.2
～14時	4	0.6
～15時	28	4.5
～16時	51	8.2
～17時	255	41.2
～18時	215	34.7
～19時	62	10.0
19時より後	0	0.0
合計	619	100.0

（7）母親の就労状況について

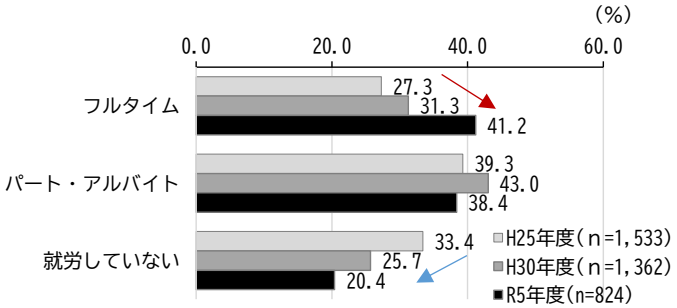
- 就労状況はフルタイムが 41.2%で最も多く、パート・アルバイトは 38.4%、就労していない人は 20.4%である。前回調査よりも「フルタイム」の割合が 10.0 ポイント増加している。
- フルタイム就労の場合の 1 週あたりの就労日数は「～5 日」と回答する割合が 91.6%となっている。1 日あたりの就労時間は「～8 時間」が 58.4%と最も多い。

1） 現在の就労状況

	度数（人）	割合（%）
フルタイム	250	30.3
フルタイムで産休・育休・介護休業中	90	10.9
パート・アルバイト等	303	36.8
パート・アルバイト等で産休・育休・介護休業中	13	1.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	160	19.4
これまで就労したことがない	8	1.0
合計	824	100.0



＜過年度との比較＞



※令和５年度は過年度の調査と選択肢が異なる。比較するにあたっては、以下のように分類し、各合計値を足して算出している。

・フルタイム＝「フルタイム」または「フルタイムで産休・育休・介護休暇中」

・「パート・アルバイト」＝「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等で産休・育休・介護休暇中」

・「就労していない」＝「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」

＜回答対象者：フルタイムで就労中の者＞

2） フルタイムで就労中の母親の就労日数、就労時間の最も多いパターン

①１週あたり就労日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	0	0.0
～2日	0	0.0
～3日	0	0.0
～4日	4	1.2
～5日	304	91.6
～6日	24	7.2
合計	332	100.0

②１日あたり就労時間

	度数（人）	割合(%)
～3時間	0	0.0
～4時間	1	0.3
～5時間	3	0.9
～6時間	31	9.3
～7時間	34	10.2
～8時間	194	58.4
～9時間	45	13.6
～10時間	13	3.9
～11時間	6	1.8
～12時間	4	1.2
12時間より長い	1	0.3
合計	332	100.0

- パート・アルバイト就労の場合の１週あたりの就労日数は「～5 日」と回答する割合が 53.2%と最も多く、次いで「～4 日」が 32.3%となっている。1 日あたりの就労時間は「～6 時間」が 37.7%と最も多く、次いで「～5 時間」が 23.4%と多い。
- フルタイムへの転換希望は、9.8%が「希望があり実現できそう」としているが、30.7%が「希望はあるが実現できそうにない」と回答している。過年度に比べ、「希望はあるが実現見込なし」の割合が 5.9 ポイント増加し、「パート・アルバイト等を継続」の割合が 6.5 ポイント減少している。

＜回答対象者：パート・アルバイトで就労中の者＞

3)　パート・アルバイトで就労中の母親の就労日数､就労時間の最も多いパターン

①１週あたり就労日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	2	0.6
～2日	6	1.9
～3日	28	8.9
～4日	102	32.3
～5日	168	53.2
～6日	10	3.2
合計	316	100.0

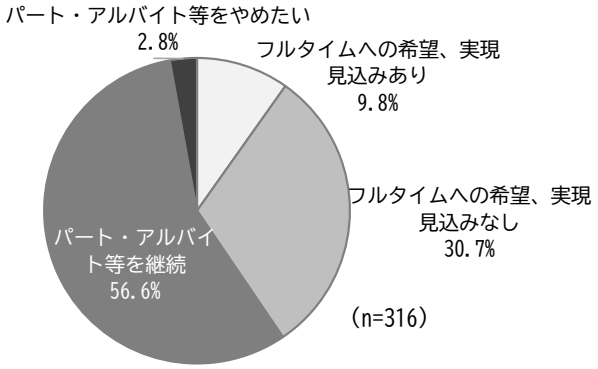
②１日あたり就労時間

	度数（人）	割合(%)
～1時間	2	0.6
～2時間	1	0.3
～3時間	3	0.9
～4時間	41	13.0
～5時間	74	23.4
～6時間	119	37.7
～7時間	53	16.8
～8時間	19	6.0
～9時間	1	0.3
～10時間	0	0.0
～11時間	0	0.0
～12時間	0	0.0
12時間より長い	3	0.9
合計	316	100.0

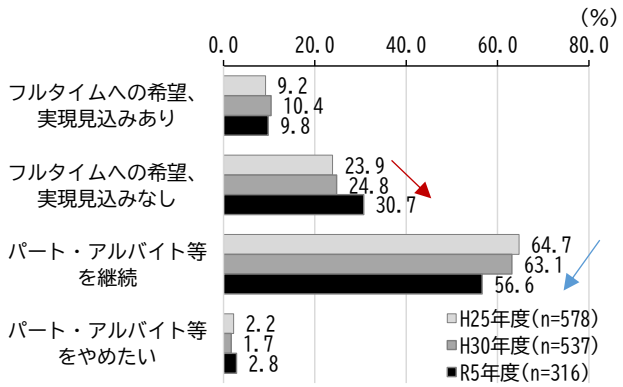
＜回答対象者：パート・アルバイトで就労中の者＞

4)　フルタイムへの転換希望

	度数（人）	割合（%）
フルタイムへの希望、実現見込みあり	31	9.8
フルタイムへの希望、実現見込みなし	97	30.7
パート・アルバイト等を継続	179	56.6
パート・アルバイト等をやめたい	9	2.8
合計	316	100.0



＜過年度との比較＞

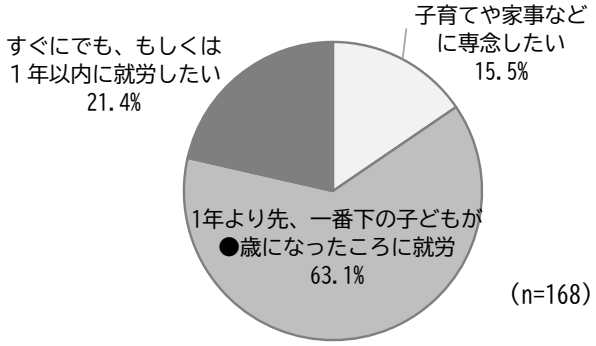


- 就労希望については、「子どもが●歳になったころ就労したい」が 63.1%で最も多く、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 21.4%で、現在就労していない母親の 84.5%が就労意欲を持っている。前回調査との変化は特にみられない。
- 就労時の子どもの年齢は「3 歳」が 45.3%と最も多く、入園時が一番の就労希望のタイミングとなっているとみられる。

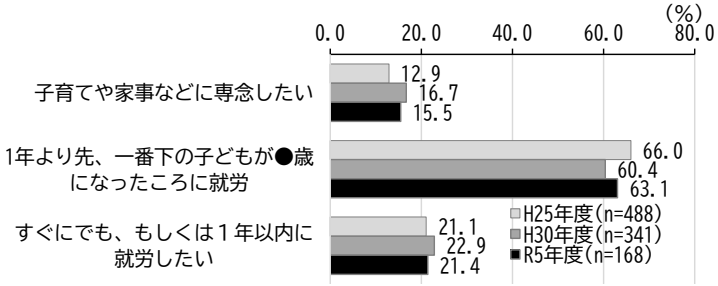
＜回答対象者：就労していない者＞

5)　母親の就労希望について

	度数（人）	割合（%）
子育てや家事などに専念したい	26	15.5
1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労	106	63.1
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	36	21.4
合計	168	100.0



＜過年度との比較＞



◆就労希望時の子どもの年齢

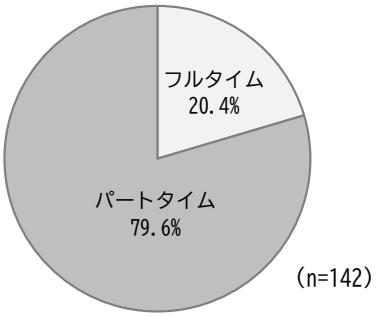
	度数（人）	割合(%)
1歳	8	7.5
2歳	13	12.3
3歳	48	45.3
4歳	15	14.2
5歳	2	1.9
6歳	8	7.5
7歳	9	8.5
8歳	2	1.9
9歳	0	0.0
10歳	0	0.0
12歳	1	0.9
合計	106	100.0

- 就労希望者のうち、希望する就労形態としては、「フルタイム」が 20.4%、「パートタイム」が 79.6%となっている。前回調査からフルタイムの割合が 7.8 ポイント増加している。
- 「パートタイム」を希望する者のうち、希望する就労日数は、4 日が 38.4%で最も多く、就労時間は「～6 時間」が 30.1%で最も多くなっている。

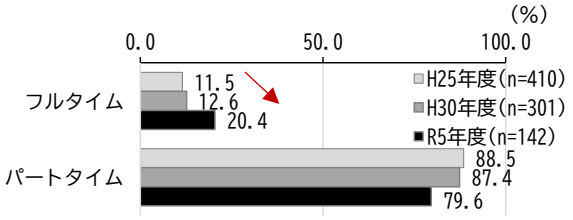
＜回答対象者：現在就労していない者＞

6)　希望する就労形態

	度数（人）	割合（%）
フルタイム	29	20.4
パートタイム	113	79.6
合計	142	100.0



＜過年度との比較＞



＜回答対象者：パートタイムを希望する者＞

7)　パートタイムを希望する者の希望就労日数・時間

①希望する１週あたり就労日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	0	0
～2日	2	1.8
～3日	33	29.5
～4日	43	38.4
～5日	34	30.4
合計	112	100.0

②希望する１日あたり就労時間

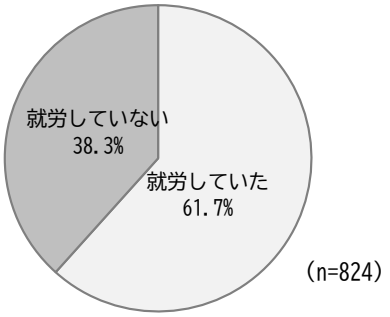
	度数（人）	割合(%)
～3時間	5	4.4
～4時間	27	23.9
～5時間	31	27.4
～6時間	34	30.1
～7時間	11	9.7
～8時間	4	3.5
～9時間	0	0.0
～10時間	0	0.0
～11時間	0	0.0
～12時間	0	0.0
12時間より長い	1	0.9
合計	113	100.0

（8）母親の育児休業について

- 妊娠・出産時の母親の就労状況は、就労していた者が 61.7%となっている。そのうち、育児休業を取得した者は 64.6%、取得中が 16.3%、取得していない者は 19.1%であった。前回調査より「取得した」「現在取得中」の割合が大きく増加している。
- 育児休業を取得した人の職場復帰時期は、子どもが「1 歳」のタイミングが 60.1%で最も多い。
- 希望していた復帰時期も「1 歳」が最も多いが、実際の復帰時期よりも 26.0%も少なく、復帰時期を早めた者が多くみられる。

1） 妊娠・出産時の母親の就労状況

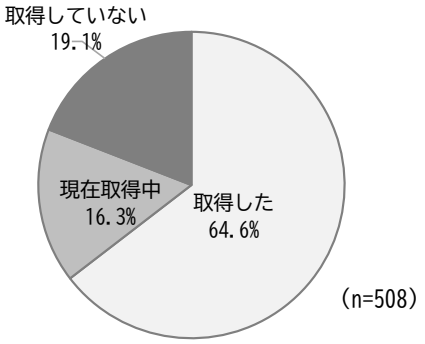
	度数（人）	割合（%）
就労していた	508	61.7
就労していない	316	38.3
合計	824	100.0



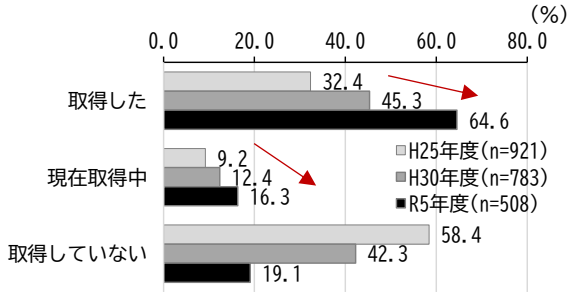
＜回答対象者：妊娠・出産時に就労していた者＞

2） 母親の育児休業取得の有無

	度数（人）	割合（%）
取得した	328	64.6
現在取得中	83	16.3
取得していない	97	19.1
合計	508	100.0



＜過年度との比較＞



※H25 年度調査は「就労していない」の選択肢をのぞいて割合を算出しなおしている

＜回答対象者：育児休業を取得した者＞

3） 育児休業を取得した者の実際の職場復帰した時期と希望していた復帰時期

①職場復帰した時期（お子さんの年齢）

	度数（人）	割合(%)
0歳	51	15.5
1歳	197	60.1
2歳	50	15.2
3歳	28	8.5
4歳	1	0.3
5歳	1	0.3
合計	328	100.0

②希望していた復帰時期（お子さんの年齢）

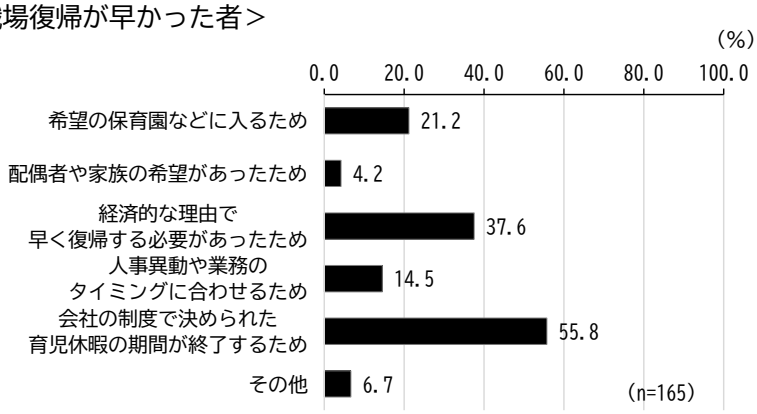
	度数（人）	割合(%)
0歳	19	5.8
1歳	112	34.1
2歳	79	24.1
3歳	107	32.6
4歳	8	2.4
5歳	2	0.6
6歳	1	0.3
合計	328	100.0

- 希望より実際の職場復帰が早かった理由は、「会社の制度で決められた育児休暇の期間が終了するため」が55.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が多い。
- 一方、希望より復帰が遅れた人の理由としては、「希望の保育園などに入れなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」がそれぞれ37.5%と最も多い。
- 現在育児休業を取得中の人のうち、お子さんが1歳未満の方で、1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあった場合の考え方について聞いたところ、「保育のサービスに関係なく、1年以上の育児休業を取得する」と回答する割合が53.2%と最も多い。

＜回答対象者：育児休業を取得した者で、希望よりも職場復帰が早かった者＞

③希望より職場復帰が早かった理由（複数回答）

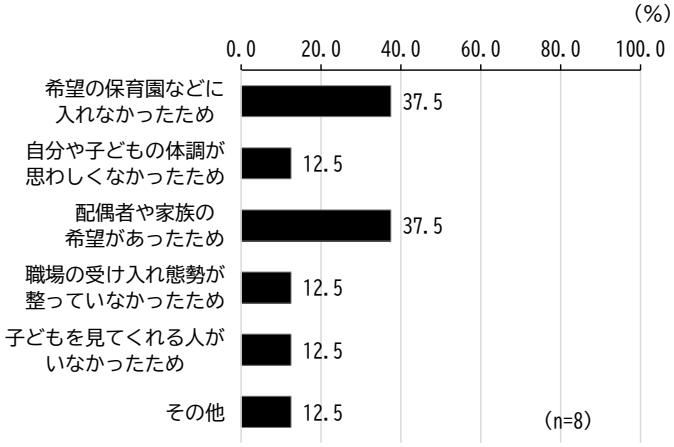
	度数（人）	割合（%）
希望の保育園などに入るため	35	21.2
配偶者や家族の希望があったため	7	4.2
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	62	37.6
人事異動や業務のタイミングに合わせるため	24	14.5
会社の制度で決められた育児休暇の期間が終了するため	92	55.8
その他	11	6.7
回答者数	165	



＜回答対象者：育児休業を取得した者で、希望よりも職場復帰が遅れた者＞

④希望より職場復帰が遅れた理由（複数回答）

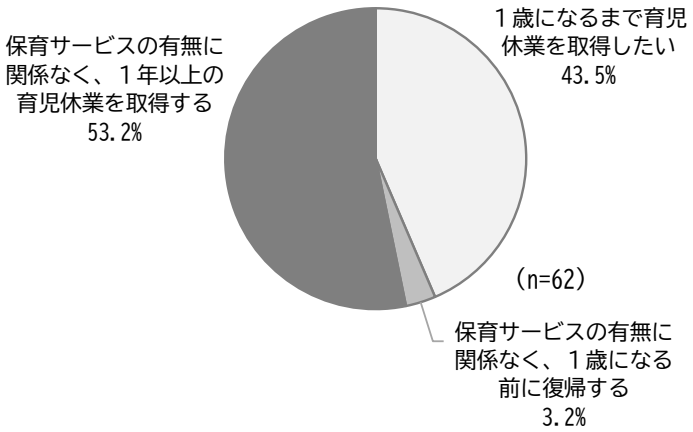
	度数（人）	割合（%）
希望の保育園などに入れなかったため	3	37.5
自分や子どもの体調が思わしくなかったため	1	12.5
配偶者や家族の希望があったため	3	37.5
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	1	12.5
子どもを見てくれる人がいなかったため	1	12.5
その他	1	12.5
回答者数	8	



＜回答対象者：育児休業を取得している者で、子どもの年齢が1歳未満の者＞

4)　子どもが1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあるとした場合の復帰意向

	度数（人）	割合（%）
1歳になるまで育児休業を取得したい	27	43.5
保育サービスの有無に関係なく、1歳になる前に復帰する	2	3.2
保育サービスの有無に関係なく、1年以上の育児休業を取得する	33	53.2
合計	62	100.0

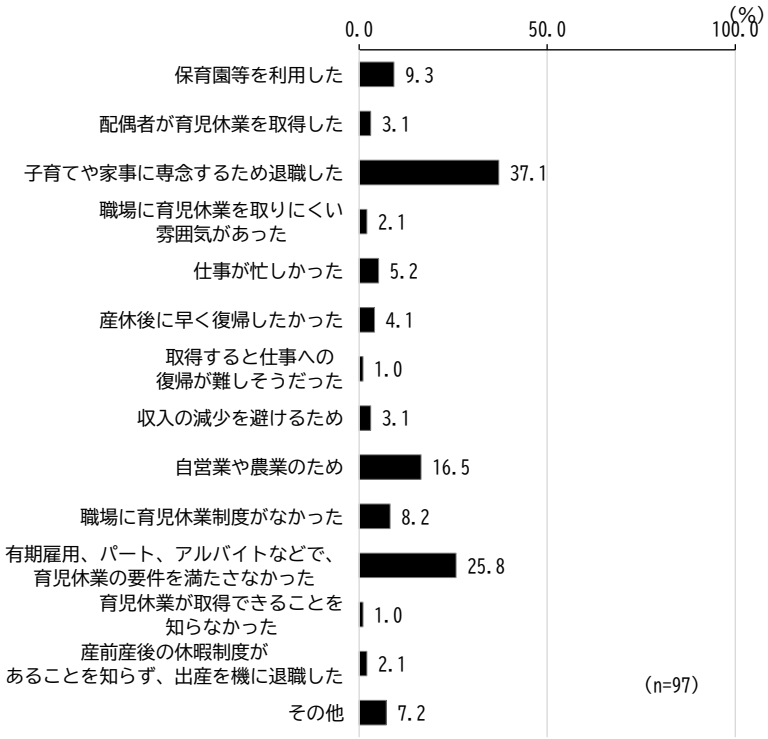


- 育児休業を取得していない人の理由では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 37.1%で最も多く、次いで「有期雇用、パート、アルバイトなどで、取得要件を満たさなかった」が多くなっている。
- 前回調査と比較すると、年々、「子育てや家事に専念するため退職した」や「職場に育児制度がなかった」という人の割合が減少している。なお、「有期雇用で取得要件を満たさなかった」という回答は、前回調査同様の傾向がみられる。

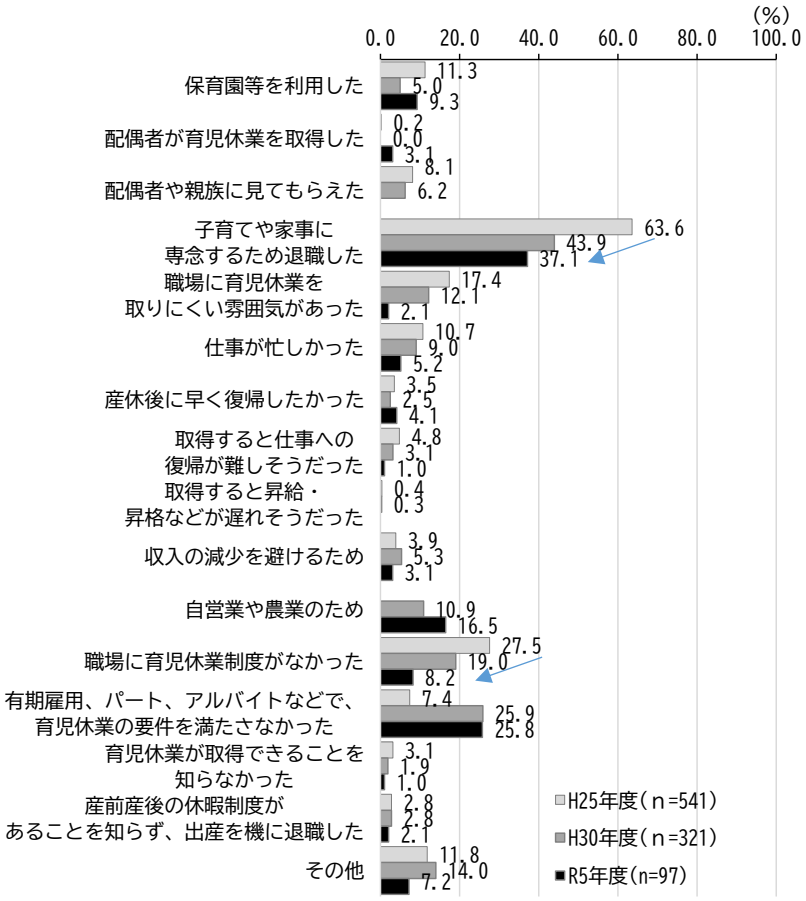
＜回答対象者：育児休業を取得していない者＞

5)　育児休業を取得していない理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
保育園等を利用した	9	9.3
配偶者が育児休業を取得した	3	3.1
子育てや家事に専念するため退職した	36	37.1
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2	2.1
仕事が忙しかった	5	5.2
産休後に早く復帰したかった	4	4.1
取得すると仕事への復帰が難しそうだった	1	1.0
収入の減少を避けるため	3	3.1
自営業や農業のため	16	16.5
職場に育児休業制度がなかった	8	8.2
有期雇用、パート、アルバイトなどで、育児休業の要件を満たさなかった	25	25.8
育児休業が取得できることを知らなかった	1	1.0
産前産後の休暇制度があることを知らず、出産を機に退職した	2	2.1
その他	7	7.2
回答者数	97	



＜過年度との比較＞

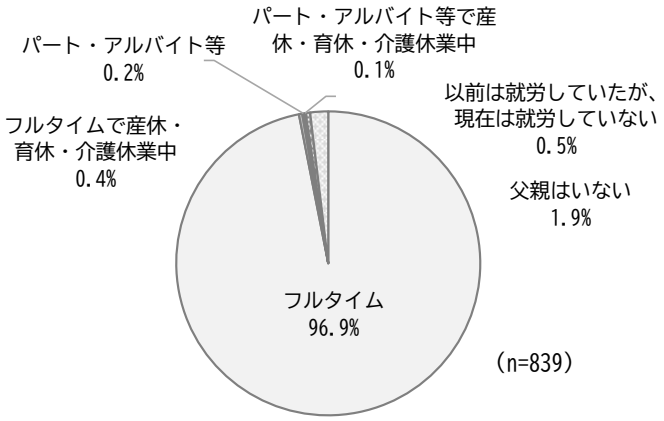


（9）父親の就労状況について

- 父親の就労状況はフルタイムが96.9%であり、父親がメインで就労している家庭がほとんどとなっている。
- フルタイム就労の場合の1週あたりの就労日数は「～5日」が80.3%、「～6日」が17.8%となっている。1日あたりの就労時間は「～8時間」が51.7%で最も多く、次いで「～9時間」が17.2%、「～10時間」が16.7%となっている。

1）　現在の就労状況

	度数（人）	割合（%）
フルタイム	813	96.9
フルタイムで産休・育休・介護休業中	3	0.4
パート・アルバイト等	2	0.2
パート・アルバイト等で産休・育休・介護休業中	1	0.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	4	0.5
父親はいない	16	1.9
合計	839	100.0



＜回答対象者：フルタイムで就労中の者＞

2）　フルタイムで就労中の父親の就労日数、就労時間の最も多いパターン

①1週あたり就労日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	0	0.0
～2日	0	0.0
～3日	0	0.0
～4日	0	0.0
～5日	644	80.3
～6日	143	17.8
～7日	15	1.9
合計	802	100.0

②1日あたり就労時間

	度数（人）	割合(%)
～1時間	0	0.0
～2時間	0	0.0
～3時間	0	0.0
～4時間	0	0.0
～5時間	0	0.0
～6時間	0	0.0
～7時間	8	1.0
～8時間	415	51.7
～9時間	138	17.2
～10時間	134	16.7
～11時間	43	5.4
～12時間	39	4.9
12時間より長い	25	3.1
合計	802	100.0

※父親のパート・アルバイト就労、現在就労していないケースは回答が少ないため、表のみの記載としている

＜回答対象者：パート・アルバイトで就労中の者＞

3)　パート・アルバイトで就労中の父親の就労日数､就労時間の最も多いパターン

①１週あたり就労日数

	度数（人）	割合(%)
～1日	0	0.0
～2日	1	33.3
～3日	1	33.3
～4日	0	0.0
～5日	1	33.3
～6日	0	0.0
～7日	0	0.0
合計	3	100.0

②１日あたり就労時間

	度数（人）	割合(%)
～1時間	1	33.3
～2時間	0	0.0
～3時間	0	0.0
～4時間	0	0.0
～5時間	1	33.3
～6時間	1	33.3
～7時間	0	0.0
～8時間	0	0.0
～9時間	0	0.0
～10時間	0	0.0
～11時間	0	0.0
～12時間	0	0.0
12時間より長い	0	0.0
合計	3	100.0

＜回答対象者：パート・アルバイトで就労中の者＞

4)　フルタイムへの転換希望

	度数（人）	割合（%）
フルタイムへの希望、実現見込みなし	3	100.0
合計	3	100.0

＜回答対象者：現在就労していない者＞

5)　父親の就労希望について

	度数（人）	割合（%）
子育てや家事などに専念したい	1	25.0
すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい	3	75.0
合計	4	100.0

＜回答対象者：現在就労していない者＞

6)　希望する就労形態

	度数（人）	割合（%）
フルタイム	3	100.0
合計	3	100.0

＜回答対象者：パートタイムを希望する者＞

7)　パートタイムを希望する者の希望就労日数・時間

①希望する１週あたり就労日数

※回答対象者なし

②希望する１日あたり就労時間

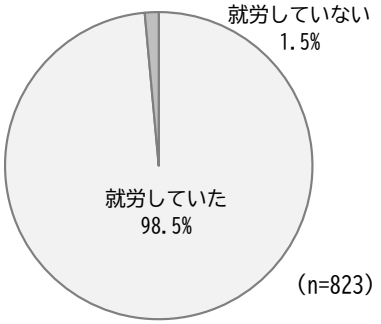
※回答対象者なし

（10）父親の育児休業について

- 子どもが生まれた時の父親の就労状況は、就労していた者が 98.5%となっている。そのうち、育児休業を取得した人はわずか 16.6%である。父親の育児休業の取得者は 2 割と、母親に比べて低いが、過年度と比較すると、「取得した」の割合は大きく増加している。
- 育児休業を取得した人の職場復帰時期は、子どもが「0 歳」のタイミングが 83.7%となっており、短い期間の取得と考えられる。希望についても「0 歳」という回答が 61.5%と多いが、希望より復帰を早めた傾向がみられる。その理由としては、「早く復帰する必要があったため」が 48.7%と最も多い。

1）　子どもが生まれたときの父親の就労状況

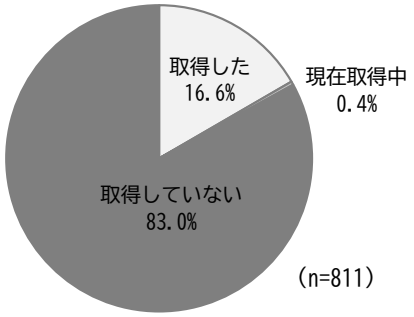
	度数（人）	割合（%）
就労していた	811	98.5
就労していない	12	1.5
合計	823	100.0



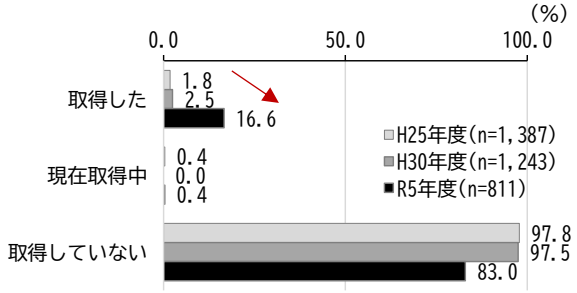
＜回答対象者：子どもが生まれたときに就労していた者＞

2）　父親の育児休業取得の有無

	度数（人）	割合（%）
取得した	135	16.6
現在取得中	3	0.4
取得していない	673	83.0
合計	811	100.0



＜過年度との比較＞



＜回答対象者：育児休業を取得した者＞

3）　育児休業を取得した者の実際の職場復帰した時期と希望していた復帰時期

①職場復帰した時期（お子さんの年齢）

	度数（人）	割合(%)
0歳	113	83.7
1歳	13	9.6
2歳	4	3.0
3歳	3	2.2
4歳	0	0.0
5歳	2	1.5
合計	135	100.0

②希望していた復帰時期（お子さんの年齢）

	度数（人）	割合(%)
0歳	83	61.5
1歳	31	23.0
2歳	5	3.7
3歳	11	8.1
4歳	3	2.2
5歳	1	0.7
6歳	0	0.0
7歳	1	0.7
合計	135	100.0

③希望より職場復帰が早かった理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
希望の保育園などに入るため	4	10.3
配偶者や家族の希望があったため	2	5.1
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	19	48.7
人事異動や業務のタイミングに合わせるため	13	33.3
会社の制度で決められた育児休暇の期間が終了するため	15	38.5
その他	4	10.3
回答者数	39	

④希望より職場復帰が遅れた理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
その他	1	100.0
回答者数	1	

• 父親が育児休業を取得していない理由は「配偶者や親族などが家にいてみてもらえた」が 40.1%で最も多く、次いで「配偶者が育児休業を取得した」が 38.8%と多い。前回調査と比較すると「配偶者が育児休業を利用」は増えている。なお、「職場に育児休業制度がなかった」や「取得しにくい雰囲気があった」と回答する割合が減っており、取得しやすい環境が整えられてきていることがうかがえる。

＜回答対象者：育児休業を取得している者で、子どもの年齢が１歳未満の者＞

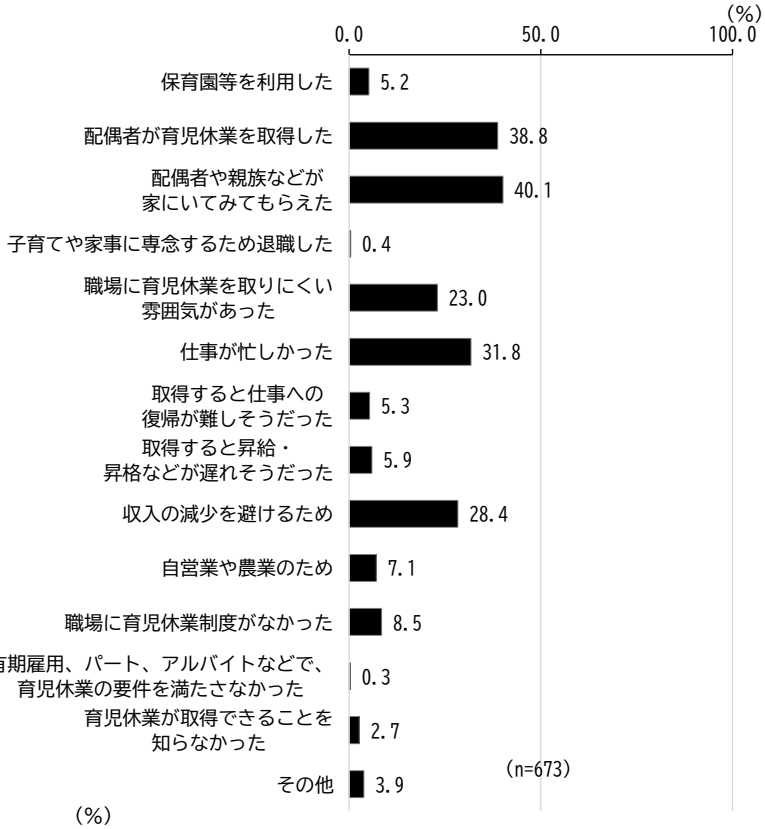
4)　子どもが１歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあるとした場合、父親の復帰意向

※回答対象者なし

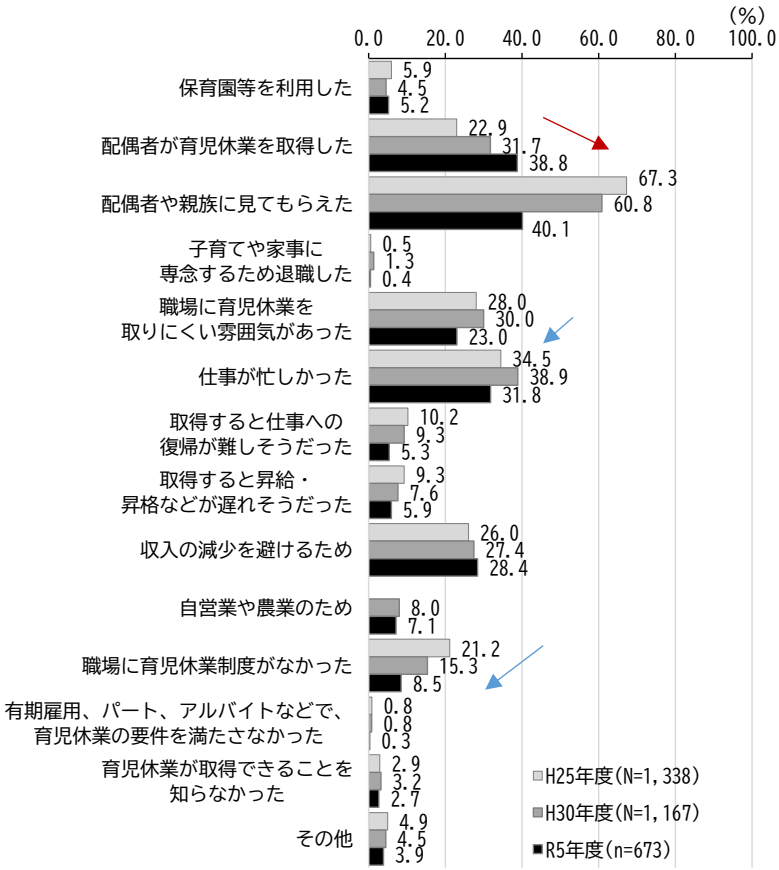
＜回答対象者：育児休業を取得していない者＞

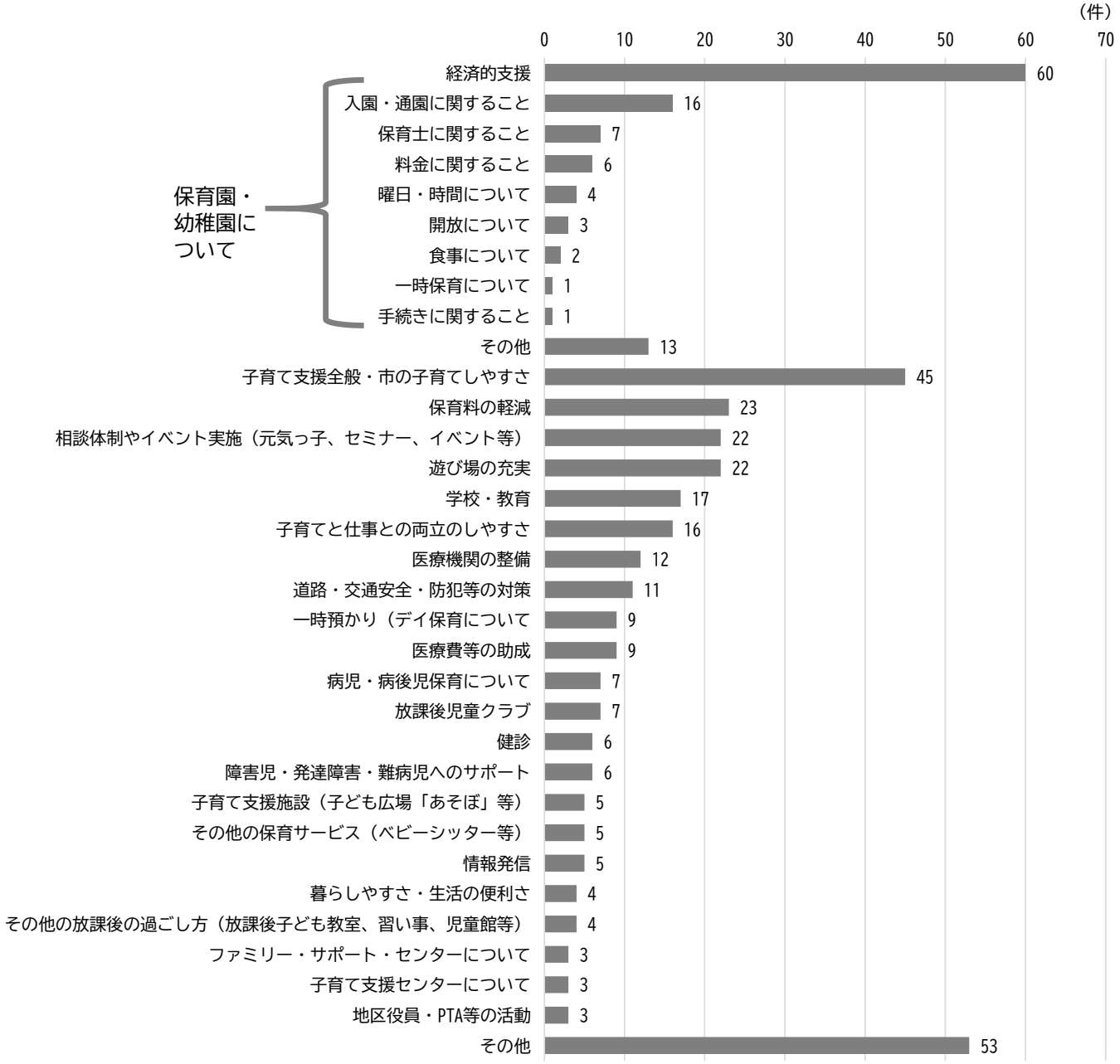
5)　育児休業を取得していない理由（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
保育園等を利用した	35	5.2
配偶者が育児休業を取得した	261	38.8
配偶者や親族などが家にいてみてもらえた	270	40.1
子育てや家事に専念するため退職した	3	0.4
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	155	23.0
仕事が忙しかった	214	31.8
取得すると仕事への復帰が難しそうだった	36	5.3
取得すると昇給・昇格などが遅れそうだった	40	5.9
収入の減少を避けるため	191	28.4
自営業や農業のため	48	7.1
職場に育児休業制度がなかった	57	8.5
有期雇用、パート、アルバイトなどで、育児休業の要件を満たさなかった	2	0.3
育児休業が取得できることを知らなかった	18	2.7
その他	26	3.9
回答者数	673	



＜過年度との比較＞



(11)子育てに関する意見等

- 子育てに関する意見等については、経済的支援を求める声が多く挙げられている。次いで、保育園や幼稚園についての意見が多く、なかでも入園や通園の制度などについて改善等を求める意見が多くなっている。